

平成30年～令和4年度  
 劇場・音楽堂等機能強化推進事業  
 (劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)  
 成果報告書

団 体 名	公益財団法人東京都歴史文化財団
施 設 名	東京芸術劇場
助 成 対 象 活 動 名	舞台芸術の創造現場を魅せる劇場
助 成 期 間	5 (年間)
内 定 額	平成30年度 65,083 平成31年度 60,639 令和2年度 59,254 令和3年度 56,706 令和4年度 62,311 (千円)

# 1. 事業概要

## (1) 事業計画の概要

### 全体図（概念図）

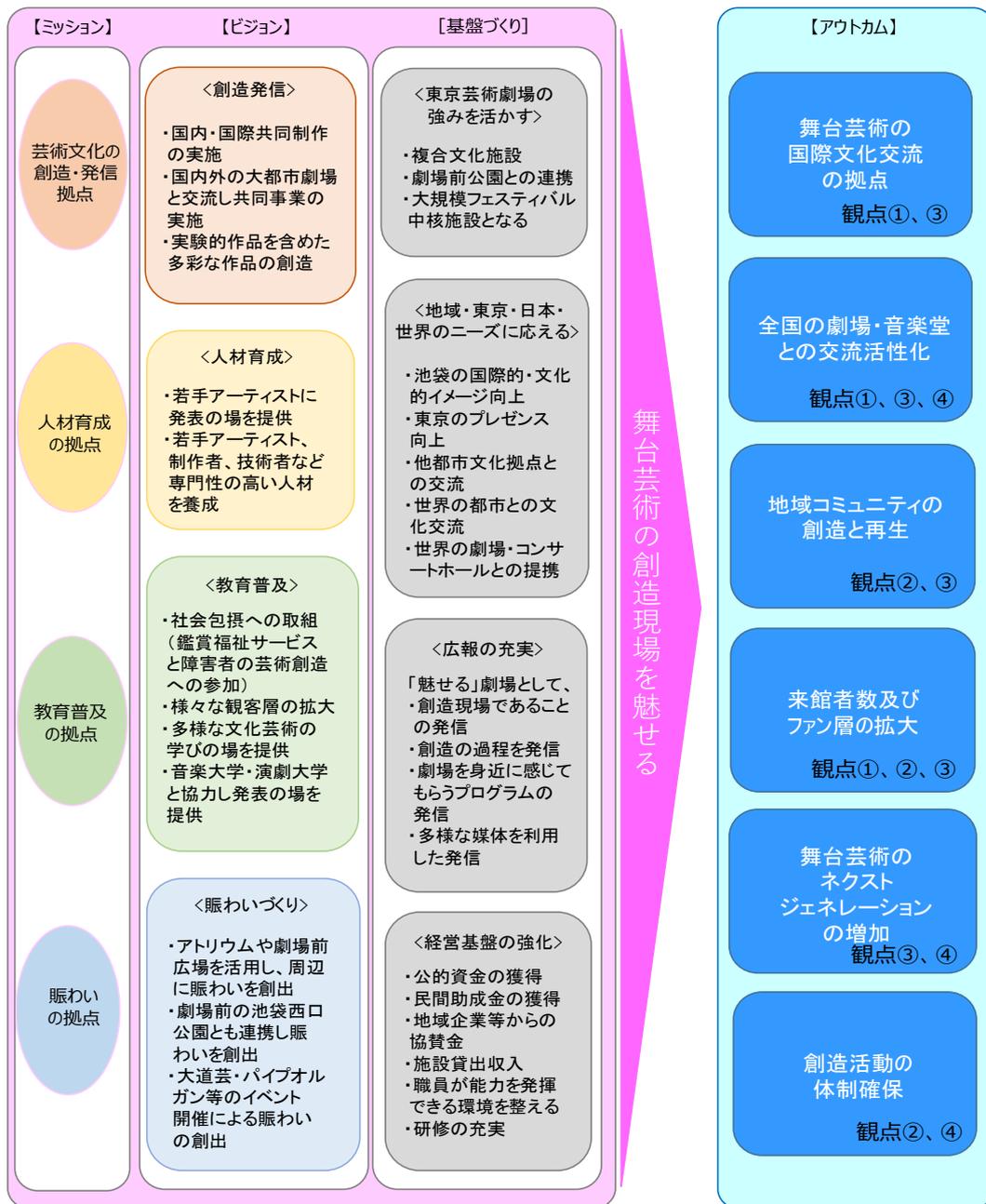
#### （事業名） 舞台芸術の創造現場を魅せる劇場

舞台芸術に感動することは、人々の心を豊かにするだけではなく、生きていく上での様々な障害・困難を乗り越える力（イノベーション）を生み出します。しかしながら、舞台芸術の鑑賞を気軽に行うことには一般の市民には様々なハードルがあることも確かです。

東京芸術劇場は3800万人とも言われる首都圏の国民の日帰り可能圏の舞台芸術施設として、また、日々約270万人が利用するターミナル駅に隣接する公共劇場として、舞台芸術と親しむにあたっての社会的なハードルの除去を仕掛けていきます。

まずは、劇場・音楽堂が単なる建物でなく芸術を創造し続けている魅力ある現場であること、そこではアーティスト(演奏家、演技者、ダンサー等)によって、日々、刻々芸術作品が作られているのだということ、そして、舞台芸術の作品はそこにあるのではなく観客がいて初めて作品になるのだということ、それぞれの事業を行いながら発信していきます。

劇場・音楽堂が人生を通じて身近で親しまれる場所になっていくために、東京芸術劇場は「舞台芸術の創造現場を魅せる劇場」としての取り組みを進めます。



(2) 令和4年度実施事業一覧

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	NEO-SYMPHONIC JAZZ at 芸劇	2022年8月19日 (金)	【曲目】millennium parade/『竜とそばかすの姫』より「U」 他 【出演】指揮：挟間美帆、ヴォーカル：中村佳穂 他	目標値	50
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	1,783
2	海外オーケストラシリー ズ(ロンドン交響楽団演奏会)	2022年10月7日 (金)	【曲目】ベルリオーズ/序曲『海賊』 作品21 他 【出演】指揮：サイモン・ラトル、 管弦楽：ロンドン交響楽団	目標値	1,600
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	1,743
3	読売日本交響楽団演奏会 (マーラー交響曲第1番)	2022年11月20日 (日)	【曲目】マーラー/交響曲第1番 ニ長調「巨人」 他 【出演】指揮：トマーシュ・ネトピ ル、管弦楽：読売日本交響楽団 他	目標値	1,400
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	1,019
4	0才&4才から聴こう! 春 休みオーケストラコンサ ート	2023年3月23日 (木)	【曲目】チャイコフスキー/ワルツ、 團伊玖磨/やぎさんゆうびん 他 【出演】指揮：角田鋼亮、管弦楽： 読売日本交響楽団 他	目標値	2,600
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	1,975
5	音楽大学オーケストラ・フ ェスティバル	2023年3月25日(土)	【曲目】バレエ音楽『春の祭典』 他 【出演】指揮：井上道義、管弦楽： 音楽大学フェスティバル・オーケス トラ(首都圏9音楽大学選抜オケ)	目標値	1,400
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	※2
6	芸劇オーケストラ・アカデ ミー・フォー・ウインド	アカデミー：通年 演奏会：2023年2月	【回数】演奏会：3回、キャリアアッ プゼミ：8回 【講師】平舘平、阿部太一、長野隆 人、吉田孝、原典子 他	目標値	600
		東京芸術劇場 シアターイースト 他		実績値	419
7	芸劇×読響 ジュニア・ア ンサンブル・アカデミー	2022年8月～2023年 2月	【回数】オーディション：1回、発表 会：1回、レッスン：10回 【講師】山田和樹、鈴木優人、柳瀬 省太、小杉芳之、武田桃子 他	目標値	20
		東京芸術劇場 リハーサルルーム 他		実績値	22
8	オルガン・ア・ラ・カルト (ナイト・ランチ・講座)	2022年4月～2023年 3月	【回数】ナイト：5回、ランチ：4回、 講座：5回 【出演】オルガン/小林英之、平井 靖子、吉田恵、山口綾規 他	目標値	5,136
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	6,796
9	TACT フェスティバル20 22(音楽)	2022年5月3日(火・ 祝)～8日(日)	【演目】朗読音楽劇『ヘンゼルとグ レーテル』、街角LIVE! 他 【出演】藤井咲有里(朗読)、山本英 (フルート) 他	目標値	1,800
		東京芸術劇場 シアターイースト 他		実績値	1,118
10	TACT フェスティバル20 22(演劇)	2022年5月1日 (日)～8日(日)	【演目】「DANCE4」、「もつれる水滴」、 「ファミリー寄席」 【出演者・スタッフ】ひびのこづえ、 東芋、ヨルグ・ミュラー 他	目標値	1,700
		東京芸術劇場 シアターウエスト 他		実績値	3,465
11	『となり街の知らない踊 り子』	2022年11月4日 (金)～6日(日)	【内容】25役を巧みに踊り演じ分け るパフォーマンス 【出演者・スタッフ】作・演出・振 付：山本卓卓、振付・出演：北尾亘	目標値	510
		東京芸術劇場 シアターイースト		実績値	622
12	シルヴィウ・プルカレーテ 演出「守銭奴 ザ・マネー・ クレイジー」	2022年11月23日 (水)～12月11日(日)	【出演】佐々木蔵之介、加治正樹、 竹内将人、大西礼芳、穰晴彦 他 【スタッフ】演出 シルヴィウ・プル カレーテ 他	目標値	10,000
		東京芸術劇場 プレイハウス		実績値	6,550
13	「気づかいルーシー」※	2022年8月4日(木) ～14日(日)※	新型コロナウイルス感染症の影響に より本公演中止 ※	目標値	2,000
		東京芸術劇場 シアターイースト※		実績値	0※

14	東京演劇道場 柴幸男演 出作品「わが町」	2023年1月25日 (水)～2月8日(水)	【出演】東京演劇道場生 【原作】ソートン・ワイルダー 【スタッフ】構成・演出・翻訳：柴 幸男／翻訳協力：水谷八也	目標値	2,200
		東京芸術劇場 シアターイースト		実績値	2,236
15	芸劇 dance 田中泯『外 は、良寛』	2022年12月16日 (金)～18日(日)	【創作】田中泯(身体言語)／松岡 正剛(言語空間)／杉本博司(空間 投影) 【出演者】田中泯 他	目標値	2,424
		東京芸術劇場 プレイハウス		実績値	1,821
16	東京演劇道場	2022年4月～2023年 3月※	【内容】道場生：ワークショップ、 自主稽古、オーディション参加 【講師】野田秀樹、井手茂太 他	目標値	64+ (二期生)
		東京芸術劇場 リハーサルルーム 他		実績値	100
17	人材育成・教育普及レク チャー・ワークショップ	2022年11月～2023 年3月	【内容】日本語教室と連携したワー クショップ、舞台技術セミナー 【ファシリテーター】柏木俊彦他 【パネリスト】佐藤昭子 他	目標値	400
		学習院大学、オンラ イン		実績値	70(WSの み)
18	東京芸術劇場プロフェッ ショナル人材養成研修	2022年4月～2023年 3月	【研修】長期コース(音楽分野、教 育普及分野)短期コース(音楽分野) 【講座】シアター・コーディネータ ー養成講座(全12回)開催	目標値	70
		東京芸術劇場 他		実績値	研修生 6
19	社会共生セミナー	2022年6月、9月、 2023年2月	【テーマ】「福祉施設における舞台 芸術活動」他 【出演者・講師】佐藤拓道(たんぽ ぽの家アートセンターHANA) 他	目標値	300
		オンライン		実績値	215

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

※2…公演 3/25-26 開催のため実績報告書提出期限 (3/24) 時点記入不可 (【参考値】入場者・参加者数実績値 : 1,565)

(3) 令和3年度実施事業一覧

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場			
1	NEO-SYMPHONIC JAZZ at 芸劇	2021年7月30日 (金)	【曲目】挟間美帆／スプラッシュ・ザ・カラズ 他 【出演】指揮・作曲・編曲：挟間美帆、ヴォーカル：吉田沙良 他	目標値	1,400
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	895※
2	海外オーケストラシリーズ	中止※	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により海外招聘が不可能となったため公演中止※	目標値	1,280
		中止※		実績値	—※
3	読売日本交響楽団演奏会 (マーラー『大地の歌』)	2022年1月28日 (金)	【曲目】マーラー／交響曲『大地の歌』 他 【出演】指揮：井上道義、テノール：宮里直樹、アルト：池田香織 他	目標値	1,400
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	1,263
4	コンサートオペラ vol. 8 『アルルの女』	2022年1月8日(土)	【曲目】ビゼー／劇音楽『アルルの女』、プーランク／オペラ『人間の声』 【出演】指揮：佐藤正浩、ソリスト：森谷真理、朗読・語り：松重豊 他	目標値	1,300
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	1,230
5	オルガン・ア・ラ・カルト (ナイト・ランチ・講座)	2021年4月～2022年 3月	【回数】ナイト：4回(1回中止※)、ランチ：4回、講座：3回 【出演】オルガン／小林英之、新山恵理、中野ひかり、大平健介 他	目標値	5,136
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	6,109
6	0才から聴こう!&4才から聴こう! 春休みオーケストラコンサート	2022年3月19日 (土)	【曲目】ベートーヴェン／交響曲第7番、久石 譲／崖の上のポニョ 他 【出演】指揮：川瀬賢太郎、管弦楽：読売日本交響楽団 他	目標値	2,600
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	1,994
7	音楽大学フェスティバル・オーケストラ	2022年3月27日(日)	【曲目】三善 晃／祝典序曲 他 【出演】指揮：下野竜也、管弦楽：音楽大学フェスティバル・オーケストラ(首都圏9音楽大学選抜オケ)	目標値	1,400
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	※2
8	芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド	アカデミー：通年 演奏会：2022年2月	【回数】演奏会：3回、キャリアアップゼミ：8回 【講師】福川伸陽、青木昂、佐藤友紀、伊藤悠貴、岡田奏 他	目標値	600
		東京芸術劇場 シアターイースト		実績値	235
9	芸劇ジュニア・アンサンブル・アカデミー	2021年8月～2022年 2月	【回数】オーディション：1回、発表会：1回、レッスン：10回 【講師】鈴木優人、柳瀬省太、杉本真弓、渡邊千春、唐沢安岐奈 他	目標値	20
		東京芸術劇場 リハーサルルーム		実績値	19
10	TACT(シアター・アーツ・フォー・チルドレン&ティーンズ)フェスティバル2021(音楽編)	2021年5月1日 (土)～5日(水)※	新型コロナウイルス感染症の影響により本公演中止、一部公演を映像収録し無料配信にて公開※	目標値	2,000
		東京芸術劇場 コンサートホール※		実績値	2,661※
11	TACT(シアター・アーツ・フォー・チルドレン&ティーンズ)フェスティバル2021(演劇編)	2021年5月6日 (木)～9日(日)※	新型コロナウイルス感染症の影響により5月公演中止、一部公演延期(落語)8月6日(金)～8日(日)※	目標値	1,800
		東京芸術劇場 シアターウエスト※		実績値	522※
12	野上絹代演出「カノン」	2021年8月14日～9 月5日※	【回数】7回(12回中止※) 【出演】中島広稀、さとうほなみ 他 【多言語対応】英語字幕機の貸し出しサービス実施	目標値	3,000
		東京芸術劇場 シアターイースト※		実績値	1,102※
13	熊林弘高演出「パンドラの鐘」	—	コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金において採択されたため要望取下げ	目標値	3,200
		—		実績値	—

14	歌舞伎ひらき街めぐり～ 木ノ下裕一の古典で読み 解く江戸の東京講座～	収録：2021年7月～ 11月	【回数】3回（オンライン配信） 【出演】講師：木ノ下裕一、朗読： 大石将弘、永井茉莉奈、作曲・演奏： やまみちやえ	目標値	750
		東京芸術劇場 シン フォニースペース		実績値	3,447
15	佐々木蔵之介主演 森新 太郎演出「冬のライオ ン」	2022年2月26日（土） ～3月15日（火）	【出演】佐々木蔵之介／葵わかな、 加藤和樹、水田航生、永島敬三、浅 利陽介／高畑淳子 【スタッフ】演出：森新太郎 他	目標値	9,504
		東京芸術劇場 プレイハウス		実績値	9,210
16	芸劇 eyes 番外編『もし もし、こちら弱い派～ かそけき声を聴くために ～』弱さを肯定する社会 へ、演劇からの応答	2021年7月19日 （月）～25日（日）	【出演】「いいへんじ」飯尾朋花、 「ウンゲツイーファ」池田亮、「コ トリ会議」牛嶋千佳 各出演多数 【スタッフ】宣伝美術：一野篤 他	目標値	898
		東京芸術劇場 シアターイースト		実績値	767
17	芸劇 dance ダンス WS	夏期：2021年8月 冬期：2022年3月	【回数】23回 【講師】北尾亘、石川直樹、吉開菜 央、杉浦充、中瀬俊介、飯嶋久美子、 KO-nei	目標値	30
		東京芸術劇場 リハーサルルーム		実績値	14
18	東京演劇道場	2021年4月～2022年 3月※	【実施内容】道場生：自主稽古、オ ーディション参加 二期生オーディション開催 【審査員】野田秀樹、ノゾエ征爾 他	目標値	60
		東京芸術劇場 リハーサルルーム 他		実績値	100
19	東京芸術劇場プロフェッ ショナル人材養成研修	2021年4月～2022年 3月	【研修】長期コース（演劇分野、教 育普及分野）短期コース（音楽分野） 【講座】シアター・コーディネータ ー養成講座（全13回）開催	目標値	70
		東京芸術劇場 他		実績値	37
20	ワークショップ・ファシ リテーター養成講座、子 どものためのワークショ ップ（仮）、レクチャー	2021年4月～2022年 3月	【講座】舞台技術セミナー、こども のためのパイプオルガンツアー 他 【講師】中條秀一、高橋堅太 他	目標値	400
		東京芸術劇場 他		実績値	332

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

※2…公演3/26-27開催のため実績報告書提出期限（3/24）時点記入不可（【参考値】入場者・参加者数実績値：1,041）

(4) 令和2年度実施事業一覧

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	NEO-SYMPHONIC JAZZ at 芸劇	2020年8月16日(日)	【曲目】挟間美帆/RUN 他 【出演】指揮：挟間美帆、演奏：東京フィルハーモニー交響楽団 他	目標値	1,400
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	604※
2	海外オーケストラシリーズ ※	2020年4月30日(木) 2020年9月29日(火) 2020年10月24日(土)	※新型コロナウイルス感染症予防措置による渡航制限等の影響により、公演中止	目標値	3,200
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	0※
3	読売日本交響楽団演奏会 (マエストロシリーズ)	2020年12月4日(金)	【曲目】望月京/むすび 他 【出演】指揮：マキシム・パスカル、ピアノ：反田恭平、管弦楽：読売日本交響楽団	目標値	1,400
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	1,304
4	東京芸術劇場 Presents プラスウィーク 2020	-	主催事業から提携事業に変更したため取 下げ申請済み	目標値	3,000
		-		実績値	-
5	モーツァルト/歌劇『フィ ガロの結婚』～庭師は見 た!～	2020年10月30日(金) 2020年11月1日(日)	【指揮・総監督】井上道義 【演出】野田秀樹 【出演】ヴィタリ・ユシュマノフ 他	目標値	3,000
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	2,488
6	0才から聴こう!&4才か ら聴こう!春休みオーケ ストラコンサート	2021年3月24日(水) 2公演	【曲目】ドヴォルザーク/スラヴ舞曲第 1番 ハ長調 他 【出演】指揮：辻博之、サクソフォン：金 野龍篤、管楽器：読売日本交響楽団	目標値	2,600
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	1,055
7	音楽大学フェスティバル・ オーケストラ ※	2021年3月27日(土)	※新型コロナウイルスの影響のため公演 中止	目標値	1,400
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	0※
8	芸劇ウインド・オーケスト ラ・アカデミー	アカデミー：通年 演奏会：2021年2月13 日(土)、14日(日)	【講師】福川伸陽、木許裕介、岡田奏 他 【対象者】主に音楽大学を卒業した若手 演奏家	目標値	600
		東京芸術劇場 シアターイースト ほか		実績値	395
9	芸劇ジュニア・アンサンブ ル・アカデミー	オーディション：2020年8月 レッスン：2020年9月～ 2021年3月(うち10回) 発表会：2021年3月14日 (日)	【講師】セバスティアン・ヴァイグレ、 山田和樹、柳瀬省太、杉本真弓 他 【対象】音楽家を志す小中高校生	目標値	20
		東京芸術劇場 リハーサルルーム ほか		実績値	23

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
10	オルガン・ア・ラ・カルト (ナイト・ランチ・講座) ※	[ナイトタイム] 2020年6月～2021年2月 [ランチタイム] 2020年7月～2021年3月 [講座] 2020年9月～2021年2月	【出演者】 [ナイトタイム] 今井奈緒子、 椎名雄一郎 他 [ランチタイム] 松浦光子、 長谷川美保、原田真侑 他 [講座] 小林英之、新山恵理 他  ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部公演中止	目標値	6,736
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	3,628※
11	TACT フェスティバル 2020 ※	2020年5月全日程中止 2020年11月13日(金) ～15日(日) 他 オンライン企画実施	『マキム!～カラダとコエとオンガクと～』 【出演】伊藤キム、森下真樹 他  『芸劇&読響 みんなでハモろう!』 【出演】鈴木優人(指揮)、石丸幹二(歌)、 読売日本交響楽団(演奏)  ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、代替企画実施(その他事業は延期もしくは中止)	目標値	公演: 1,400・ 全体: 3,500
		東京芸術劇場 プレイハウス ほか		実績値	公演: 553※
12	木ノ下歌舞伎「三人吉三」 ※	2020年5月30日(土)～6 月1日(月) 他	※新型コロナウイルスの影響のため公演 中止	目標値	5,000
		東京芸術劇場 プレイハウス		実績値	0※
13	「赤鬼」	2020年7月24日(金・ 祝)～8月16日(日)	【作・演出】野田秀樹 【出演者・スタッフ】若手演劇人、 日比野克彦(美術・衣裳)、服部基(照明) 他	目標値	4,000
		東京芸術劇場 シアターイースト		実績値	2,516※
14	芸劇 dance 田中泯 『村のドン・キホーテ』 Yo! Don Quixote	2020年12月4日(金) ～6日(日)	【演目】「村のドン・キホーテ」 【出演者】田中泯、石原淋 他 【スタッフ】田中泯(空間演出)、 松岡正剛(言語演出) 他	目標値	1,650
		東京芸術劇場 プレイハウス		実績値	1,070
15	芸劇 dance ダンス WS	WS: 2020年8月～9月 公演: 2020年9月20日 (日)、21日(月・祝)	【講師・スタッフ】 北尾亘、木ノ下裕一、山口とも、大石始	目標値	513
		東京芸術劇場 シアターイースト 他		実績値	224※
16	東京演劇道場	通年	【実施内容】ワークショップ、記録映像 上映会、芸劇の自主事業の舞台稽古 他 【講師】野田秀樹 他	目標値	60
		東京芸術劇場 リハーサルルーム 他		実績値	60
17	東京芸術劇場 人材育成・ 教育普及	通年	【実施内容】バックステージツアー・劇 場ツアー、レクチャー、ワークショップ 他	目標値	2,900
		東京芸術劇場 他		実績値	812

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(5) 平成31年度実施事業一覧

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	読響との事業提携シリーズ(マーラー交響曲第3番)	2019年12月6日(金)	【曲目】マーラー／交響曲第3番 二短調 【出演】指揮：井上道義 アルト：池田香織 コーラス：首都圏音楽大学合同コーラス(合唱指導：池田香織) 児童コーラス：TOKYO FM 少年合唱団 管弦楽：読売日本交響楽団	目標値	1,450
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	1,677
2	海外オーケストラシリーズ「フィルハーモニア管弦楽団」	2020年 1月23日(木) 1月28日(火) 1月29日(水)	【曲目】 1月23日 ラヴェル／組曲『クーブランの墓』 シベリウス／ヴァイオリン協奏曲 二短調 op.47 ストラヴィンスキー／バレエ音楽『春の祭典』 1月28日 シベリウス／交響詩『大洋の女神』 op.73 ショスタコーヴィチ／ヴァイオリン協奏曲第1番 イ短調 op.77 ストラヴィンスキー／バレエ音楽『火の鳥』(1910年原典版) 1月29日 サロネン／『ジェミニ』：「ポルックス」、「カストール」*日本初演 マーラー／交響曲第9番 二長調 【出演】 指揮：エサペッカ・サロネン(首席指揮者&アーティストック・アドヴァイザー) ヴァイオリン：庄司紗矢香(1月23日・28日) 管弦楽：フィルハーモニア管弦楽団	目標値	6,400
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	4,090

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
3	東京ホワイトハンドコーラス	2019年4月7日(日) ～9月15日(日)	<p>音楽で共生社会をめざし、聴覚や視覚に障害のある子どもたちを中心としたサイン隊と声隊によるコーラス・グループ活動「東京ホワイトハンドコーラス(TWHC)」。</p> <p>定期的なワークショップを開催し、開かれたインクルーシブなコーラス隊を作ることを目指す。</p> <p>【サイン隊】聴覚に障害のある子どもたちを中心としたコーラス隊。歌詞からオリジナルの手歌を作り、発表していく。</p> <p>【声隊】視覚に障害のある子どもたちを中心としたコーラス隊。点字や墨字の歌詞、復習用の音源などを活用して練習を行う。</p> <p>また、歌の好きな晴眼の子どもたちも参加可能。</p> <p>【指導者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロンえりか(エル・システムジャパン芸術監督/東京ホワイトハンドコーラス指導担当)</li> <li>・井崎哲也(東京ホワイトハンドコーラス指導担当)</li> <li>・古橋富士雄(エル・システムジャパン音楽監督(コーラス))</li> </ul>	目標値	40
		東京芸術劇場 リハーサル室など		実績値	40

番号	事業名	主な実施日程	概要	入場者・参加者数	
		主な実施会場	(演目、主な出演者、スタッフ等)	目標値	
4	東京芸術劇場 Presents プラスウィーク 2019	2019 年 ①9月29日(日) ②10月5日(土) ③10月31日(木)	<p>①9月29日(日) 東京吹奏楽団 第66回定期演奏会 【曲目】 E. グレグゾン／フェスティーボ C. サン＝サーンス(後藤洋編曲)／ 組曲『動物の謝肉祭』より C. A. ドビュッシー(W. A. シェーファ ー編曲)／『三つのノクターン』よ り「祭り」 三善晃／吹奏楽のための「深層の祭」 C. T. スミス／フェスティバル・バリ エーション D. R. ホルジンガー／古代の聖歌と祝 典の踊り H. O. リード／メキシコの祭り 【出演】 指揮：小林恵子(正指揮者) 演奏：東京吹奏楽団</p> <p>②10月5日(土) 東京佼成ウインドオーケストラ 第 145回定期演奏会 【曲目】 J. S. バッハ(D. ハンスバーガー編</p>	目標値	3,000

		<p>東京芸術劇場 コンサートホール 主な実施会場</p>	<p>曲) / 前奏曲とフーガ 変ホ長調 「聖アン」 BWV552 J. S. バッハ (P. グレインジャー編 曲) / 楽しい鐘の音 (『狩のカンタ ータ』 BWV208 より「羊は安らかに 草を食み」) J. S. バッハ (伊藤康英編曲) / ウイ ンド・アンサンブルのためのシャコ ンヌ (2017 年度版) 酒井健治 / デチューン [名古屋フィ ルハーモニー交響楽団との共同委嘱 新作] 高昌帥 / 吹奏楽のための協奏曲 【出演】 指揮：大井剛史 (正指揮者) 演奏：東京佼成ウインドオーケスト ラ ③10月31日(木) ブラック・ダイク・バンド 【曲目】 パーシー・コード：ゼルダ ピーター・グレイアム：バリトンの ための協奏曲 ポール・ロヴァット＝クーパー：ウ オーキング・ウィズ・ヒーローズ ホアキン・ロドリゴ：アランフェ ス協奏曲 アンディ・スコット：竜の巣 (ド ラゴンズ・デン) ピーター・グレイアム：“キャッ ツ・テイルズ”より“カタロニア” “キャットウォーク”“スキヤッ ト” ピーター・グレイアム：シャイン・ アズ・ザ・ライト 他 【出演】 指揮：ニコラス・チャイルズ (音楽 監督・首席指揮者) 演奏：ブラック・ダイク・バンド 司会：朝岡聡</p>	<p>実績値</p>	<p>3,434</p>
--	--	---------------------------------------	--	------------	--------------

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
5	コンサート・オペラシリーズ vol.7	2019年10月26日(土)	<b>【曲目】</b> ドビュッシー／『放蕩息子』 ビゼー／歌劇『ジャミレ』 <b>【出演】</b> 指揮：佐藤正浩 管弦楽：ザ・オペラ・バンド コーラス：国立音楽大学合唱団 ドビュッシー／『放蕩息子』 リア（母）：浜田理恵 シメオン（父）：ヴィタリ・ユシュマノフ アザエル（放蕩息子）：宮里直樹 ビゼー／歌劇『ジャミレ』 ジャミレ（女奴隷）：鳥木弥生 アルーン（王子）：樋口達哉 スプレンドィアーノ（使用人）：岡昭宏	目標値	1,200
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	1,145
6	NHK 交響楽団 演奏会	2019年12月14日(土)	<b>【曲目】</b> リムスキー・コルサコフ／スペイン 奇想曲 リスト／ピアノ協奏曲 第1番 変ホ 長調 チャイコフスキー／交響曲第1番 ト短調『冬の日の幻想』 <b>【出演】</b> 指揮：パブロ・エラス・カサド ピアノ：ダニエル・ハリトーノフ 管弦楽：NHK 交響楽団	目標値	1,500
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	1,368
7	0才から聴こう!&4才から聴こう!春休みオーケストラコンサート	2020年3月31日(火) 公演中止	コロナウイルス感染拡大防止のため中止	目標値	2,600
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	0
8	音楽大学オーケストラ・フェスティバル	2020年3月29日(日) 公演中止	コロナウイルス感染拡大防止のため中止	目標値	1,400
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	0

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
9	芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミー	アカデミー：通年  年末演奏会： 2020年2月29日（土） 中止	<b>【対象】</b> プロを目指す18歳～28歳程度まで。 音源審査・実技審査等のオーディションにて選出。 アカデミーには最大3年間在籍でき、キャリアアップゼミやアウトリーチ活動等のカリキュラム実施。  <b>【アカデミーカリキュラム】</b> ＊演奏技術指導・演奏機会の提供 ・TACT FESTIVAL 2019 街角LIVE！ 2019年5月 ・アトリウムコンサート 2019年9月～12月 ・SaLaD ミニコンサート 2019年9月 ・年末演奏会中止 ＊キャリアアップゼミ アカデミー生のキャリアアップを図るため、キャリア関連講座として「ゼミ」を開催  <b>【講師】</b> 統括：東京芸術劇場 演奏技術指導：東京佼成ウインドオーケストラ キャリアアップゼミキューレーション：木許裕介	目標値	800
		東京芸術劇場 コンサートホールほか		実績値	参加者 16 年末演奏 会中止
10	芸劇ジュニア・アンサンブル・アカデミー	オーディション2019 年8月18日（日） レッスン：2019年9月 21日（土）～2020年2 月1日（土）  発表会： 2020年2月2日（日）	<b>【対象】</b> 小学校高学年～高校生 真剣に弦楽アンサンブル（ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス）に取り組む人  <b>【講師】</b> 伝田正秀（読売日本交響楽団コンサートマスター） 杉本真弓（読売日本交響楽団ヴァイオリン奏者） 柳瀬省太（読売日本交響楽団ソロ・ヴィオラ奏者） 渡邊千春（読売日本交響楽団ヴィオラ奏者） 松葉春樹（読売日本交響楽団チェロ奏者） 大槻健（読売日本交響楽団首席コントラバス奏者） ほか	目標値	20
		東京芸術劇場 シンフォニースペース ほか		実績値	30

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
11	創造発信事業 RootsVol.7 野田作品野上絹代演出 「カノン」	2020年3月2日(月) ～3月15日(日) 全公演中止	コロナウイルス感染拡大防止のため 中止	目標値	4,000
		東京芸術劇場 シアターイースト		実績値	0
12	創造発信事業 朗読東京／自作自演	事業中止	事業中止(2019年8月31日付助成 対象活動計画変更承認書提出)	目標値	1,000
		—		実績値	—
13	ポッコちゃん～星新一 ショートショートセレク ション～	2019年5月30日(木) ～6月2日(日)	【演目】 1.「ポッコちゃん」(『ポッコちゃん』 所収) 2.「知人たち」(『たくさんのタブー』 所収) 3.「おーい でてこーい」(『ポッコち ゃん』所収) 4.「鏡」(『ポッコちゃん』所収) 5.「宇宙の男たち」(『宇宙のあいさ つ』所収) 6.「ひとつの装置」(『妖精配給会社』 所収) ※すべて新潮文庫刊 【作・演出】 原作：星新一 脚色・演出：チョン・インチョル 【出演】 韓国ナショナル・シアターカンパニ ー	目標値	966
		東京芸術劇場 シアターイースト		実績値	760
14	招聘公演 ローザス	①2019年5月9日 (木)～12日(日)	①Rosas「A Love Supreme～至上の 愛」 【振付】アンヌ・テレサ・ドウ・ケー スマイケル 【音楽】ジョン・コルトレーン<至上 の愛> 【出演】ローザス José Paulo dos Santos, Bilal El Had, Jason Respilieux, Thomas Vantuycom 【上演時間】約50分(途中休憩なし)	目標値	4,884
		②2019年5月18日 (土)・19日(日)		②Rosas「我ら人生のただ中であって ／バッハ無伴奏チェロ組曲」 【振付】アンヌ・テレサ・ドウ・ケー スマイケル 【音楽】J.S. バッハ<無伴奏チェロ 組曲> 【チェロ】ジャン＝ギアン・ケラス 【出演】ローザス Boštjan Antončič, Anne Teresa De Keersmaecker, Marie Goudot, Julien Monty, Michaël Pomero 上演時間：約2時間(途中休憩なし)	実績値
		東京芸術劇場 プレイハウス			

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	
15	TACT/FESTIVAL	2019年5月4日(土・祝)・5日(日・祝)・6日(月・休)	①1927『獣よ、子供よ、街に出よ!』 ②マサト先生のミュージック・エデュケーション・プログラム～リズム! リズム! リズム!～ ③ベイベー・ミュージックサロン～赤ちゃんと楽しむ本格的なバロック音楽～ ④WONDER WATER + Rinne + MASK ⑤ひびのこづえプロデュース『いきものブローチ作り』 ⑥田中泯『場踊り』 ⑦『ゆるゆる休憩所 モモンガ・ハウス』 ⑧芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミー アトリウムコンサート ⑨街角 LIVE!	目標値	5,000
		東京芸術劇場ほか		実績値	6,510

番号	事業名	主な実施日程		概要		入場者・参加者数	
		主な実施会場		(演目、主な出演者、スタッフ等)			
16	オルガン・ア・ラ・カルト (ナイト、ランチ、講座)	<p>【ナイトタイム】 2019年4月18日 (木)、6月20日(木)、 8月29日(木)、10月 17日(木)、2020年2 月13日(木)</p> <p>【ランチタイム】 2019年5月23日 (木)、7月18日(木)、 9月26日(木)、11月 14日(木)、2020年1 月16日(木) 3月12日(木)公演中止</p> <p>【講座】 2019年5月27日 (月)、8月01日(木)、 9月26日(木)、11月 14日(木)、2020年1 月16日(木)</p>		<p>【ナイトタイム】 Vol.26 2019年04月18日(木) オルガン：湯口依子 Vol.27 2019年06月20日(木) オルガン：小林英之 Vol.28 2019年08月29日(木) オルガン：原田靖子 サクソフォーン：蓼沼雅紀 Vol.29 2019年10月17日(木) オルガン：ピエール・ダミアーン・ペ レッティ Vol.30 2020年02月13日(木) オルガン：新山恵理 作曲&amp;指揮：松下耕 合唱：The Metropolitan Chorus of Tokyo</p> <p>【ランチタイム】 Vol.132 2019年5月23日(木) オルガン：都築由理江 Vol.133 2019年7月18日(木) オルガン：小野なおみ Vol.134 2019年9月26日(木) オルガン：安 杏菜 Vol.135 2019年11月14日(木) オルガン：森 亮子 Vol.136 2020年1月16日(木) オルガン：川越聡子</p> <p>【講座】 第77回 2019年5月27日(月) 芸 劇のオルガンを弾こう！ 第78回 2019年8月01日(木) 夏 休み -特別編- 芸劇のオルガンを たっぷり楽しもう 第79回 2019年9月26日(木) - 音づくりのひみつ Vol.1- ~フラン ス・シンフォニック~ 第80回 2019年11月14日(木) - 音づくりのひみつ Vol.2- ~フラン ス古典(バロック)~ 第81回 2020年1月16日(木) - 音づくりのひみつ Vol.3- ~ドイツ ~</p>		目標値	6,736
		東京芸術劇場 コンサートホール	実績値	6,272			

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
17	バックステージツアー	バックステージツアー 2019年7月21日(日) 劇場ツアー 7月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バックステージツアー Vol.11「劇場のお仕事プレイハウス編」</li> <li>・劇場ツアー</li> </ul> スタッフ：劇場スタッフ、ファシリテーター	目標値	200
		東京芸術劇場 プレイハウスほか		実績値	355
18	公演関連レクチャー	2019年5月5日(日・祝) 2019年6月7日(金) 2019年8月30日(金) 2019年9月20日(金)	2019年5月5日(日・祝) Rosas『A Love Supreme～至上の愛』・『我ら人生のただ中において／バッハ無伴奏チェロ組曲』公演関連レクチャー 10代からの鑑賞講座～コンテンポラリーダンス編～ Rosas(ローザス)の魅力とその楽しみ方 講師：越智雄磨  2019年6月7日(金) 「NEO SYMPHONIC JAZZ at 芸劇2019」公演関連レクチャー 管弦楽とジャズのコラボレーションを楽しむ！ 講師：挟間美帆 モデレーター：小室敬幸  2019年8月30日(金) 芸劇こどものアトリエ「地図のワークショップ」 講師：藤田貴大  2019年9月20日(金) ドビュッシー/『放蕩息子』&ビゼー/歌劇『ジャミレ』公演関連レクチャー 砂漠からの風を感じて ～異国情緒とオペラ界～ 講師：岸純信	目標値	300
		東京芸術劇場 シンフォニースペース ほか		実績値	184

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
19	舞台技術セミナー	2019年6月11日(火)	<p>劇場で活躍する舞台技術スタッフのためのフルハーネス型墜落制止用器具特別教育</p> <p>【対象】フリーランスの舞台技術スタッフで、フルハーネス型墜落制止用器具を用いる業務に従事する方</p> <p>【講義内容】 I. 作業に関する知識 II. 墜落制止用器具に関する知識 III. 労働災害の防止に関する知識 IV. 墜落制止用器具の使用方法 V. 関係法令</p> <p>【講師】 新島啓介・渡邊武彦(東京芸術劇場舞台管理担当)</p>	目標値	70
		東京芸術劇場 リハーサルルームL		実績値	22
20	東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修	通年	<p>【目的・対象】 公立文化施設等の公的機関や芸術団体、または今後東京で行われるフェスティバル事業等で活躍することを目指す若手人材に対し、プロデューサーやコーディネーターとしての資質の向上、又は舞台芸術分野へのキャリアチェンジに資することを目的とする。</p> <p>【研修コース】 長期コース(10か月程度) 短期コース(3か月程度) 分野: 演劇制作・音楽制作・教育普及 研修内容: 現場経験、座学、他館研修 講師: 館内職員、ほか外部の専門人材</p> <p>【シアター・コーディネーター養成講座&lt;劇場ツアー編&gt;】 研修内容: 基礎講座、演習、企画案提出 講師: 多和田真太良、館内職員、ほか外部の専門人材</p>	目標値	6
		東京芸術劇場ほか		実績値	のべ33

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	
21	東京演劇道場	通年	<p>1. ワークショップ</p> <p>①2019年5月27日(月)～5月31日(金) 講師：野田秀樹芸術監督</p> <p>②2019年5月28日(水) 講師：井手茂太</p> <p>③2019年8月5日(月)～8月7日(水) 講師：野田秀樹芸術監督</p> <p>④2019年8月12日(月)～8月17日(土) 講師：エリック・マレット</p> <p>⑤2019年11月23日～12月12日(木) 講師：リロ・パウワー</p> <p>⑥2020年1月10日・14日 講師：黒田育世</p> <p>⑦2020年1月15日(水)～16日(木) 講師：野田秀樹芸術監督</p> <p>⑧2020年2月4日(火)・6日(木) 講師：井手茂太</p> <p>⑨2020年2月10日(月)・14日(金) 講師：柴幸男</p> <p>2. 参加メンバーによるクリエイションのための自主稽古 日程：不定期</p>	目標値	30
		東京芸術劇場 リハーサル室ほか		実績値	60

(6) 平成30年度実施事業一覧

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	読響による事業提携シリーズ マーラー交響曲第8番『千人の交響曲』	2018年10月3日(水)	指揮：井上道義管弦楽：読売日本交響楽団	目標値	1,650
		東京芸術劇場コンサートホール		実績値	1,730
2	海外オーケストラシリーズ 「パリ管弦楽団」	2018年12月16日(日)	ベルク／ヴァイオリン協奏曲「ある天使の思い出に」 マーラー／交響曲 第1番 二長調「巨人」 指揮：ダニエル・ハーディング、ヴァイオリン：イザベル・ファウスト、管弦楽：パリ管弦楽団	目標値	1,535
		東京芸術劇場コンサートホール		実績値	1,409
3	エル・システム・フェスティバル2018	ガラコンサート 2018年12月1日(土)	指揮：エンルイス・モンテス・オリバー、 出演者：福島県相馬市、岩手県大槌町、長野県駒ヶ根市の子どもオーケストラ、東京ホワイトハンドコーラス サイン隊・声隊 (指揮・指導：コロネりか、指導：井崎哲也、指導：土野研二)、ララ・ソモス	目標値	1,500
		東京芸術劇場コンサートホール		実績値	1,128
4	東京芸術劇場 Presents プラスウィーク2018 バンドクリニック『中・高生のための楽しい吹奏楽』	2018年9月9日(日)	講師：オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ、シエナ・ウインド・オーケストラ、東京佼成ウインドオーケストラ、東京吹奏楽団、広島ウインドオーケストラ	目標値	100
		東京芸術劇場コンサートホール		実績値	104
5	コンサート・オペラシリーズ 藤倉大：オペラ《ソラリス》(全幕)	2018年10月31日(水)	指揮：佐藤紀雄、管弦楽：アンサンブル・ノマド、エレクトロニクス：永見竜生、出演：三宅理恵、サイモン・ベイリー、トム・ランドル、森雅史、ロリー・マズグレヴィ	目標値	1,550
		東京芸術劇場コンサートホール		実績値	1,424
6	藤田貴大 『BOAT』	2018年7月16日(月・祝)～7月26日(木)	上演台本・演出：藤田貴大 出演：宮沢氷魚、青柳いづみ、豊田エリー、川崎ゆり子、佐々木美奈、長谷川洋子、石井亮介、尾野島慎太郎、辻本達也、中島広隆、波佐谷聡、船津健太、山本直寛、中嶋朋子	目標値	7,500
		東京芸術劇場プレイハウス		実績値	5,012
7	RooTS Series「書を捨てよ町へ出よう」	2018年10月7日(日)～10月21日(日)	原作：寺山修司 上演台本・演出：藤田貴大 出演：佐藤緋美、青柳いづみ、川崎ゆり子、佐々木美奈、召田実子、石井亮介、尾野島慎太郎、辻本達也、中島広隆、波佐谷聡、船津健太、山本達久	目標値	2,680
		東京芸術劇場シアターイースト		実績値	3,776
8	橋爪功主演「父」	2019年2月2日(土)～2月24日(日)	作：フロリアン・ゼレール 演出：ラディスラス・ショラー 出演：橋爪功、若村麻由美、壮一帆、太田緑ロランス、吉見一豊、今井朋彦	目標値	5,400
		東京芸術劇場シアターイースト		実績値	5,417
9	朗読東京／自作自演	2019年1月24日(木)～1月26日(土) ／2018年8月2日(木)	[朗読東京] 演出：長部聡介 出演：西田尚美×豊田エリー、佐々木蔵之介×八十田勇一、板尾創路×梶原善 [自作自演]出演：永井愛×長田育恵	目標値	1,030
		東京芸術劇場シアターイースト		実績値	771
10	勅使川原三郎『月に憑かれたピエロ』	2018年12月1日(土)、12月2日(日)、12月4日(火)	振付・美術・照明・美術・衣装：勅使川原三郎 出演：勅使川原三郎、佐東利穂子歌：マリアヌス・スプール 指揮：ハイメ・ウイルソン	目標値	1,740
		東京芸術劇場プレイハウス		実績値	1,355

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
11	芸劇 dance 愛知県芸術劇場 提携プロジェクト『Stars Dance Concert2019』	2019年3月8日(金)、3 月9日(土)	ダンサー：マニュエル・ルグリ、オルガ・ スミルノワ、シルヴィア・アツォーニ、 セミョン・チュージン 音楽家：三浦文彰、田村響、滝澤志野	目標値	3,350
		東京芸術劇場コンサート ホール		実績値	2,897
12	オルガン・ア・ラ・カルト	2018年4月26日(木)ほか	ナイトタイム：小林英之、新山恵理、平井 靖子、川越聡子、原田圭、近藤岳、シモー ネ・ヴェッパ、ダニエル・ザレツキー ランチタイム：新山恵理、平井靖子、荒井 牧子、富田真希、佐藤礼子、長田真実、石 丸由佳 ほか	目標値	6,136
		東京芸術劇場コンサート ホール		実績値	6,101
13	人材育成・教育普及 バックステージツアー	2018年6月3日(日)	内容：照明、音響、舞台機構など普段公演 では見ることができないバックステージ を紹介。参加者は照明や音響の機材を実際 に触り、動かし、裏方の仕事を体験する。 スタッフ：東京芸術劇場 音響担当、照明 担当、人材育成・教育普及担当、 明治座 舞台 音響担当、照明担当	目標値	350
		東京芸術劇場プレイハウ ス		実績値	79
14	0才から聴こう！&4才から 聴こう！春休みオーケストラ コンサート	2019年3月27日(水)	指揮：鈴木優人、ナビゲーター：中井美穂、 ソリスト：三村梨紗、管弦楽：読売日本交 響楽団	目標値	2,900
		東京芸術劇場コンサート ホール		実績値	2,481
15	TACT/FESTIVAL ブランカ・リ ー『Solstice(ソルスティス) —夏至／冬至』	2018年6月29日～7月1 日(日)	振付・演出：ブランカ・リー 音楽：タオ・ ギュティエレス 出演：ブランカ・リー・ ダンスカンパニー ほか	目標値	2,000
		東京芸術劇場プレイハウ スほか		実績値	1,498
16	人材育成・教育普及 公演関連レクチャーシリーズ	2018年9月22日(土)ほ か	・コンサートオペラ vol.6『ソラリス』公 演関連レクチャー ・「障害とパフォーマンス・アーツ」レク チャー 講師：藤倉大×沼野充義、鴻英良、Ping Chong×鈴木京子	目標値	120
		東京芸術劇場リハーサル ルームL ほか		実績値	133
17	音楽大学フェスティバル・オ ーケストラ演奏会	2019年3月30日(土)	指揮：小林研一郎、管弦楽：音楽大学フ ェスティバル・オーケストラ 曲目：ベルリオーズ／序曲『ローマの謝 肉祭』、チャイコフスキー／序曲『1812 年』ほか	目標値	1,400
		東京芸術劇場コンサート ホール		実績値	—
18	芸劇ウインド・オーケストラ・ アカデミー	アカデミー：通年 演奏会：2019年3月1日 (金)	[アカデミー] 講師：下野竜也、東京佼成ウインドオーケ ストラ 他 スタッフ：東京芸術劇場(統括)、東京佼 成ウインドオーケストラ(演奏技術指導)、 上野学園大学(キャリアアップゼミ) [演奏会] 指揮：下野竜也、ソプラノ：木下美穂子 芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミー 東京佼成ウインドオーケストラ	目標値	800
		東京芸術劇場 コンサー トホール、リハーサルル ーム ほか		実績値	416(演奏 会) 20(メンバ ー)
19	芸劇ジュニア・アンサンブル・ アカデミー	2018年7月7日(土)ほか	講師：伝田正秀、杉本真弓、柳瀬 省太、 正田響子、渡邊 千春、富岡廉太郎、松葉 春樹、大槻 健	目標値	10
		東京芸術劇場リハーサル ルームほか		実績値	29

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
20	人材育成・教育普及 舞台技術セミナー	2018年6月5日(火)	講師：石丸耕一、金子彰宏、兼子紳一郎、 渡辺隆行	目標値	120
		東京芸術劇場プレイハウス		実績値	141
21	東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修	通年	内容：公開レクチャー、館内ゼミ、外部研修 講師：東京芸術劇場職員、綿江彰禪、福井学、杉浦太一、樽松大剛、朝倉由希、関鎮京、秋野有紀ほか	目標値	205
		東京芸術劇場ほか		実績値	2
22	俳優向けワークショップ	2018年10月21日(日)～ 10月25日(木)ほか	講師：リロ・パウアー、永井愛、スチュアート・メルトン、デイヴィッド・ギルバート	目標値	298
		東京芸術劇場 シンフォニースペース ほか		実績値	231

## 2. 自己評価

### (1) 妥当性 (平成30年～令和4年度 5か年分)

#### 自己評価

事業計画に必要な構成要素が有機的に連関し、当初の予定通りに事業が実施できたか。

当劇場は、平成2(1990)年に開館し、平成20(2008)年のあり方検討により創造発信型劇場へと舵を切った。それを受けて芸術監督を迎え、ハード面でも大規模改修を行い、平成24(2012)年にリニューアルオープン後、令和4年度(2022年)で10年目を迎えたところである。

そのミッション(社会的役割)は、「芸術文化の創造発信」「人材育成」「教育普及」「賑わい」の拠点になることであり、東京・日本の芸術文化のハブ(創造発信・交流拠点)となるというビジョンをもち、東京・池袋地域の特性、当劇場の強みや特色を生かし、また、取り巻く社会変化やニーズを踏まえて、それら構成要素を連関させながら、「舞台芸術の創造現場を魅せる劇場」事業を展開してきた。

この5年間において、以下の環境変化に対応しながら、事業を計画どおり、あるいは、新たなやり方を模索して、目標・指標を達成、あるいは、近づけることができた。

#### ◎東京・池袋地域の特性・ニーズの変化

平成31(2019)年度の秋に池袋西口公園野外劇場グローバルリングシアターがオープンし、また、豊島区が東アジア文化都市に選ばれ日中韓の都市による文化交流を行い、文化芸術イベントを集中的に実施した。令和2(2020)年度は、新型コロナウイルス感染症拡大によりオリパラが延期。令和3(2021)年度も、年間にわたり新型コロナウイルス感染症の影響により、オリパラパブリックビューイングなどイベントの中止が相次いだ。R4は、まだコロナの影響はあったものの、水際制限の緩和により国際交流の復活が可能となった。今後については、当劇場と隣接する池袋駅西口地区5.9haの再開発計画が令和14(2032)年の一部供用開始を目指し進行している。

#### ◎当劇場を取り巻く社会とニーズの変化：

当劇場で行われる助成対象事業を含む全自主事業は、東京2020大会の文化プログラム「Tokyo Tokyo FESTIVAL」と位置付けられた。また、平成30(2018)年度には、大規模音楽祭「サラダ音楽祭」がスタートし、これまで行われていた東京芸術祭に加え、当劇場を中心とした多様なフェスティバルが開催されるようになった。東京2020大会の延期に伴い、令和3(2021)年9月5日まで「Tokyo Tokyo FESTIVAL」が継続となった。年度末には、東京2020大会の終了、新型コロナウイルス感染症の影響、持続・共生社会へのシフト、デジタル化の進展など、社会環境が大きく変化しているタイミングを捉え「東京文化戦略2030」が策定され、その中で、「都立文化施設が芸術文化のハブとなり、共同制作・人材交流・情報の中心的な役割を担えるようにする。」という方向性が示された。「東京文化戦略2030」は、令和4(2022)年度から令和12(2030)年度までの長期計画である。(「東京文化戦略2030 デジタルブック」より)

以下、5年間の事業計画の実施総括を記載する。

平成30(2018)年度：

事業計画の初年度は、軽微な変更はあるものの、概ね予定どおりの事業を実施することができ、アウトカムの発現に向けて順調に進められた。

平成31(2019)年度：

11月、野外劇場グローバルリングシアターとしてリニューアルオープンし、フィルハーモニア管弦楽団来日公演時には、豊島区がイルミネーションとフィルハーモニア管弦楽団映像コンサートを開催し、地域と一体化した企画を行い連携が強化されたと共に、最新のデジタル技術(VR)体験ができる新たな企画を実施した。(「VRサウン

ド・ステージ Tokyo」のとおり)しかし、2月末から3月の事業に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、助成対象事業についても5事業21公演を中止した。その他の事業については、概ね予定どおり実施することができており、事業計画全体に齟齬は生じていないと自己評価している。

令和2(2020)年度：

前年度末からのイベント自粛要請が続き、さらに4月7日からは約2か月間の臨時休館となり、その後、徐々にイベント開催制限が緩和されるも、音楽系は6月18日から、演劇系は7月24日からの公演再開となった。再開後も入場人数の制限や開館時間の短縮を余儀なくされた。当館としては、業界ごとの再開のガイドライン策定に協力し、それに沿って可能な限り事業を実施するよう取り組んだが、その時々々の感染状況により作品創造や海外招聘などの事業の実施が困難となり、助成対象事業では、7事業21公演を中止または延期、1事業をオンラインプログラムに内容変更することとなった。

令和3(2021)年度：

4年目となる令和3(2021)年度も、緊急事態宣言、まん延防止、リバウンド防止などの措置が出され、春には2週間強の休館もあり、コロナ禍に対応した運営が続いた。イベント制限は徐々に緩和されたものの、お客様の出控え、買い控えはほぼ1年間続いた。また、水際対策は厳しいままで、海外からの招聘はほぼ叶わず、助成対象事業では、5事業61公演を中止または延期、1事業をオンラインプログラムに内容変更、当初よりオンラインとして2事業を実施した。

令和4(2022)年度：

新型コロナウイルスの水際対策が3月1日から緩和された。10月1日より入国者総数の上限が撤廃され、指定の国・地域に対してビザ免除措置も再開された。これによって海外からのアーティストの招聘も可能となり、ようやく国際交流を復活し、待望のサイモン・ラトル指揮ロンドン交響楽団を実現。

演劇系では、2事業でパフォーマーやスタッフを入国させることができた。一方、観客と接近する演出の公演や、CONTACTするワークショップ形式の事業は感染防止ガイドラインに抵触するため2事業が中止となった。またアジアツアーを組む海外カンパニーは、水際対策が依然厳しい国もあるためツアーが成立せず1事業が延期のあげく中止となった。国内では「第7波」が本格化した7月、公演中止件数が激増。8月に入っても終息の気配がなく、キャンセル分の損失は、そのまま主催者にのしかかる状況となった。公演関係者の新型コロナウイルス陽性が確認された1事業は東京公演がすべて中止となったが、地方公演は完遂し、舞台を有料配信することで凌いだ。稽古中も劇場入りしてからも感染防止対策は徹底することで公演中止を防いだケースは多数あった。またコロナ禍やロシアとウクライナの戦争の影響による航空運賃・輸送費や資材高騰、急激な円安と物価上昇など経済状況の悪化は制作マネジメントにも少なからず影響があった。そうした状況においても、劇場の安全性をアピールすると共に、海外からの質の高い舞台芸術や国内の多彩な舞台表現を観客に向けて継続して提供することができたことは、社会的にも高く評価された。

プロフェッショナル人材養成研修については、当館の人材育成プログラムであるアーツアカデミーが10周年を迎え、卒業生の多くが全国の公共劇場や芸術団体に就職を果たし、実績をあげて継続できている。またコロナ状況もふまえて舞台術セミナー、社会共生セミナーをオンラインで実施することにより、会場で実施するよりも幅広い層の参加を得ることができた。

コロナ禍によるアウトプットの遅れや変更はあったものの、6つのアウトカム実現の方向性は変わらず、5年間で確実に質的变化をもたらしていると自己評価する。

## 自己評価

助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。

◎文化的意義（文化芸術の水準がどのように向上したか。）：

それぞれの部門において以下のとおり、最上級の作品を創作、招聘し、日本の国民に鑑賞の場を提供した（詳しくは「創造性」を参照）。音楽部門では、パリ管弦楽団（H30）、サロネン/フィルハーモニア管弦楽団（H31）、サイモン・ラトル指揮ロンドン交響楽団、藤倉大『ソラリス』の日本初演、野田芸術監督の演出作品『フィガロの結婚』再演（R2）など。ダンス部門では、勅使川原三郎『月に憑かれたピエロ』（H30）、「ローザス」の招聘（H31）、田中泯『村のドン・キホーテ』（R2）。演劇部門における上質な作品としては、「父」（H30）、「冬のライオン」（R3）など。若手起用による実験的上演としては藤田貴大が「書を捨てよ、町に出よう」（H30）、野田秀樹脚本「カノン」では野上絹代を起用（H31）。野田芸術監督自らの代表作「赤鬼」を東京演劇道場のメンバーにより上演（R2）、また芸劇 eyes 番外編「もしもし、こちら弱い派」では注目最前線の劇団を起用した。海外からの公演としては、TACT フェスティバルで子供も大人も楽しめる質の高いフィジカルシアターをH30、H31に招聘。「ポッコちゃん」（H31）は韓国ナショナル・シアターカンパニーとの継続的協働の一環。

◎社会的意義（劇場の社会的役割を認識し、地域社会に対してどのように貢献したか。）

当館にとっての「地域」は地理的には豊島区、池袋エリアであるが、首都東京都の劇場であることから広域の東京をも自らの拠って立つ「地域」と考え、地域コミュニティの創造と再生というアウトカム実現に継続的に取り組み地域における共生社会実現に貢献した。H29 からインクルーシブな合唱団「ホワイトハンドコーラス」のワークショップを継続的に実施。NHK がドキュメンタリー番組を制作、R3 にはオペラや「第九」公演に出演するまでの実力を備える合唱団に成長している。R4 は、日本語教育ワークショップを行い、日本に暮らす外国人にいかにも日本語を学んでもらうかを検証、劇場周辺地域の実情とニーズに応える活動を行った。地域のあらゆる世代、あらゆる人々への芸術体験の場を提供すべく、『0才&4才からのコンサート』の継続的開催や『こども落語(TACT)』など、子供たちや子育て中のファミリーなど芸術にアクセスしづらい世代に芸術体験の場を提供し、地域コミュニティの創造と再生というアウトカム実現に継続的に取り組んでいる。

さらに、地域のネクストジェネレーション育成に貢献すべく、レクチャー、ワークショップなどの教育普及的事業については、この助成により発展的な取り組みが可能になり、公演事業に付随した内容を脱して、単独の目的を持った事業に成長させることができた。また、『芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド』『芸劇ジュニア・アンサンブル・アカデミー』、野田芸術監督自らが指導する『東京演劇道場』による若手アーティスト・演劇人の育成事業を継続的にを行い、地域の中高生の指導者としての役割を果たすなど、舞台芸術に携わるネクストジェネレーションの育成に貢献した。

◎経済的意義（劇場の活動が、地域経済や国民生活にどのような変化をもたらしたか。）

オルガンランチタイムコンサート 500 円、ナイトタイムコンサート 1,000 円など安価な価格で参加できる公演や劇場体験の提供により、近隣の人々を呼び込み、参加後の劇場内や近隣での滞留によるテナント及び劇場周辺の近隣店舗などへの波及効果に貢献した。コロナ禍においては、可能な限り公演や事業を実施することで、消費、経済を活性化させると共に、キャンセルにより困窮するアーティストや舞台芸術関係者の仕事が継続するよう努力した。中止にせざるを得なかった場合にも、極力延期、または映像など代替企画を実施した。助成によりコロナ下でも活動を継続する経済的支えを頂いたことから、生の鑑賞では得られない情報を含んだコンテンツの作成にも取り組んでノウハウを蓄積した。配信は、コロナによる一過性のものではなく、新たな製品特性をもち、新たなマーケットを魅了するソフトとして今後取り組みに注力したい。

## (2) 有効性 (平成30年～令和4年度 5か年分)

### 自己評価

目標を達成し、アウトカムが発現したか。

本事業計画では、以下のアウトカムの発現を目的に9つの目標と、目標達成のための9つの指標を定めた。

<アウトカム>

1. 舞台芸術の国際文化交流の拠点
2. 全国の劇場・音楽堂との交流活性化
3. 地域コミュニティの創造と再生
4. 来館者数及びファン層の拡大
5. 舞台芸術のネクストジェネレーションの増加
6. 創造活動の体制確保

パンデミックの中、事業を継続できたのは、特に財政面において、当財団あがての対応や設置者からの支援、また、文化庁や経済産業省による助成金の活用などによる。また人材面でも、この5年間で職員が8人増員となり、特に、人材育成や社会共生の担当や事業を支える管理のスタッフが増強された。それらの資源を投入して実施された事業は、以下に記述のとおり、目標・指標の達成を目指し推進した。コロナ禍により、令和2年度、3年度は進捗に遅れが出たものの、令和4年度には、コロナの影響、円安や電気代高騰の影響など厳しい状況が続いたが、大きな変更のない事業推進を行い、目標・指標の達成状況もほぼ計画どおりとなり、5年間の事業を通じて、上記6のアウトカムの発現が達成できたと評価している。

#### 目標1. 舞台芸術の国際文化交流の拠点として我が国の国際的プレゼンスの向上

指標) 1-1-1. 海外作品を10回/年実施する。

実績) H30: 6件/H31:11件/R2: 0件/R3: 0件 R4:/0件

指標) 1-1-2. 海外アーティストを10件/年招聘する。

実績) H30: 6件14名/H31: 5件11名/R2: 1件2名/R3: 0件 R4:/4件

指標) 1-2-1. 国際共同制作3件/期間中合計を実施する。

実績) R3: 期間中合計 2件 計画中 R4: 期間中合計 2件 (計画中1件)

指標) 1-3-1. 海外劇場・コンサートホールと継続的關係を目指した文書を交わす館を3館/期間中合計をつくる。

実績) R3: シヤイヨー劇場公演・交換プログラム、パリ日本文化会館公演、ロンドンソーホー劇場公演、韓国国立明洞芸術劇場との交換プログラム国家両庁院 (台北)・韓国国立劇場 (ソウル)・エスプラナード・シアター (シンガポール) と国際共同制作に取り組む3年計画の「アジア・コネクション・プロデューサーズ・クリエイション (ACPC)」準備に着手。

音楽 R4: フィルハーモニー・ド・パリとの提携協定締結

演劇 R4: ルーマニア国立ラドゥスタンカ劇場 (シビウ国際芸術祭) と継続的に協働

演劇 R4: 国家両庁院 (台北)・韓国国立劇場 (ソウル)・エスプラナード・シアター (シンガポール) との国際共同制作「アジア・コネクション・プロデューサーズ・クリエイション (ACPC)」プロジェクトを継続

国際文化交流はコロナ禍により最も打撃を受けたが、オンラインにより情報交換は盛んに行われ、R4には、数字的には指標に及ばなかったものの、海外アーティストの招聘や国際共同制作を復活させた。また、フィルハーモニー・ド・パリとの提携協定の締結が実現し、今後の交流事業の基盤ができた。当館のプレゼンスは、演劇分野

では ACPG への参加が求められ、また R4 年度には芸術監督の作品がロンドン、台湾で上演されるなど、海外でのプレゼンスが高まっている。音楽分野では、海外著名指揮者が頻りに登場するようになりマエストロによるロコミが広まり、来日公演での指名ホールに入れられるようになるなど、欧米のオーケストラ界でコンサートホールの評判が高まっている。芸劇を拠点とした国際文化交流により、我が国の国際的プレゼンスの向上につながっている。

## **目標 2. 全国の劇場・音楽堂との交流活性化による鑑賞及び文化芸術活動を行う国民の拡大**

指標) 2-1-1. 他都市劇場の作品等を 4 作品/年上演する。

実績) H30: 2 作品/H31: 4 作品/R2: 2 作品/R3: 0 作品 R4:/0 件

指標) 2-1-2. 芸劇作品を他都市劇場等で 4 作品/年上演する。

実績) H30: 5 作品/H31: 3 作品/R2: 2 作品/R3: 1 作品 R4:/2 件

指標) 2-1-3. 他都市劇場・音楽堂から 1 名/年以上のスタッフを受け入れる。

実績) H30: 1 名/H31: 1 名/R2: 0 名/R3: 0 名 R4:/0 件

指標) 2-1-4. 共通課題解決のための講習会等を、10 件/年以上開催する。

実績) H30: 舞台技術 1 件/人材育成 12 件、H31: 舞台技術 2 件/人材育成 10 件、

R2: 舞台技術 1 件/人材育成 9 件、R3: 人材育成 7 件

R4: 舞台技術 1 件/人材育成 7 件

コロナ禍により作品上演の交流数は計画を下回ったが、制作人材育成により育った人材が、この 5 年間で 12 名に及び、彼らが全国の劇場などに就職し活躍していることは、国レベルでの芸術鑑賞機会の継続的創出に役立ち、ひいては、国民の芸術文化鑑賞・活動拡大につながっている。

## **目標 3. 地域コミュニティの創造と再生**

指標) 3-1-1. 各年代（子供+子育て世代、小中高生、大学生、高齢者等）向けプログラムを各年代 1 件/年以上。

実績) H30: 8 件/H31: 7 件/R2: 3 件/R3: 0 歳・未就学児（子育て世代）1 件（0 才 4 才コンサート）、小中高生、大学生 3 件（こどもらくご、ジュニアアンサンブル、音大オケ）、高齢者向け 0 件/R4: 0 歳・未就学児（子育て世代）2 件（0 才 4 才コンサート、TACT2022）小中高生、大学生 4 件（TACT2022、ジュニアアンサンブル、音大オケ、劇場ツアー（夏休みこどもツアー、豊島こども大学ツアー）、高齢者向け 0 件

指標) 3-1-2. 障害を持つアーティストが実演家として参加するプログラムを 2 件/年以上実施。

実績) H30: 1 件/H31: 1 件/R2: 1 件/R3: 0 件（事業拡大のため、別助成金にて実施）、R4: 1 件

指標) 3-1-3. 鑑賞サポートを 20 回/年実施する。

実績) H30: 8 事業 20 回/H31: 5 事業 20 回/R2: 3 事業 8 回/ R3: 3 事業 3 回/R4: 8 事業 18 回

指標) 3-2-1. 地域資源（豊島区、地域の大学との連携等）を活用した事業を 5 件/年実施する。

実績) H30: 5 件/H31: 5 件/R2: 3 件/R3: 1 件 R4: 3 件

指標) 3-2-2. 2020 年度以降、池袋西口公園と連携したイベントを 3 件/年実施する。

実績) H30: 1 件 15 公演/H31: 公園工事中/R2: 0 件/R3: 0 件 R4: 1 件

R2、R3 年度、計画を下回ったのは、コロナの影響である。R4 は順調に回復しており、アート&カルチャー都市に進化している豊島区と連携し文化による街づくりの一翼を担い、子育て世代、障害者等の孤立を防ぎ、地域における社会的課題解決に寄与している。2014 年、消滅可能性都市の指摘を受けた豊島区は、今や、共働き子育てしやすい街 No. 2（2020\_日経 DUAL）、住みたい街 No. 8（2020\_suumo）に選ばれている。

#### **目標 4. 来場者数・ファン数の拡大による鑑賞活動を行う国民の拡大**

指標) 4-1-1. 東京芸術劇場の来館者数 150 万人/年を目指す。

実績) R2 年度にオリパラ期間中の手荷物検査実施数から年間来場者数を推計すると、

120,000 人 ÷ 45 日 = 2,666 人 → 約 2,600 人 × 340 = 884,000 人となる。

R4 : ホール・ギャラリー → 648,135 人、リハ・会議室 → 70,712 人

その他 → 199,200 人 合計およそ 918,047 人

指標) 4-1-2. フェイスブックフォロワー数 8,000/計画期間中、ツイッターフォロワー数 10 万人/計画期間中

実績) FB フォロワー数 = 6,507 → R4: 6,964 ツイッターフォロワー数 = 97,560 → R4: 100,315

YouTube 登録者数 = 4,290 → R4: 4,530

東京都「文化に関する世論調査」によると、東京の文化振興をさらに発展させるために東京都が積極的に進める必要がある取組として、「子供の頃から美術館や劇場に親しめる環境を整備する」との回答割合が最も高かった。次いで、「魅力的な内容であること」、また、「若い芸術家の育成・支援」が 3 位となっている。当館が重点的に実施している事業が支持されていることが読み取れる。また、都が力を入れるべき分野として「文化・芸術の振興」と答えた都民の割合は、2019 年のコロナ前が 4.4%、2020 年のコロナ時が 8.8%と上昇していることから、この間の都の文化振興が評価されていることが読み取れる。

更に、R4 には、ツイッターフォロワー数が指標の 10 万人を突破し当館のファンが拡大していると言える。

#### **目標 5. 舞台芸術のネクストジェネレーションの増加**

指標) 5-1-1. 芸劇ウインド修了者から 20 名以上のプロを輩出する。

実績) R4: 計 14 名 (プロの楽団・グループ入団 : 13 名、ソリストとしてマネジメント所属 : 1 名)

指標) 5-1-2. 東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成アカデミー修了者からの専門人材輩出 10 名を目指す。

実績) R3: 計 9 名 + R4: 計 4 名 = 13 名

指標) 5-1-3. 東京演劇道場からの大・中劇場クラスへの出演者を 20 名輩出する。

実績) R3: 計 25 名 + R4: 計 25 名 = 50 名

指標) 5-1-4. 障害者アーツ事業指導者を 10 名養成する。

実績) R3: 計 12 名養成、他 4 名が受講中、R4: 計 5 名

コロナ禍で打撃を受けたアーティストや制作者たちであったが、当館が各種補助金の申請や、オンラインプログラムの制作方法の指導なども行い、コロナ禍を生き抜いて、確実に次世代が育ってきていると言える。

#### **目標 6. 持続可能な創造活動の体制確保**

指標) 6-1-1. 外部講師の引き受け件数 10 件/年以上

実績) H30 : 17 件/H31 : 20 件/R2 : 7 件/R3 : 32 件/R4 : 37 件

指標) 6-2-1. 民間協賛金 20,000 万円/年以上の確保

実績) H30 : 20,874 千円/H31 : 27,000 千円/R2 : 17,423 千円/R3 : 17,422 千円 / R4 : 15,008 千円

主任級・主事級の職員も都立総合芸術高校で講師を務めるなど職員の専門性・能力が向上している。民間協賛金は開館 30 周年の H31 年度には大きく伸びたが、その後はコロナ禍による企業の業績悪化が響き減少傾向である。その分を、国の助成金で補っていただき、経営面、人材育成面で、持続可能な体制を確保することができた。

### (3) 効率性 (平成30年～令和4年度 5か年分)

#### 自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに実施できたか。

平成31年度2月末から、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画変更が発生。当初は、対応方法も定まらず中止が多くなったが、業界のガイドライン策定が進み、徐々にウィズ・コロナでの事業推進に取り組んだ。中止公演は配信を行うなど、目標を達成するための代替企画を実施し、概ね計画どおりの成果をあげることができたと評価している。各年度の実績は以下のとおりである。

#### 平成30年度

○入場者数・参加者数について 目標: 24,685人 実績: 22,126人 達成率: 90%

○実施期間の変更: なし

#### 平成31年度

○入場者数・参加者数について 目標: 40,632人 実績: 29,827人 達成率: 73%

令和2年2月26日に政府から「大規模イベントの自粛」が要請され、その後計画していた公演を中止。

○実施期間の変更: ウインド・オーケストラ・アカデミーは、年度末公演を予定していたが中止。野上絹代演出「カノン」は、3月に本番を予定していたが中止(R3延期)。「音楽大学オーケストラ・フェスティバル」、「0才&4才春休みオーケストラコンサート」など、5事業21公演を中止としたことが目標未達の大きな要因となった。

#### 令和2年度

○入場者数・参加者数について 目標: 38,879人 実績: 14,732人 達成率: 38%

○実施期間の変更: 緊急事態宣言により2か月以上の臨時休館と、水際対策による海外オーケストラ公演の中止など、助成対象の7事業22公演を中止または延期。目標には届かない結果となったが、事業の延期や一部映像配信に変更、または、実施できた公演の無料映像配信を行うなど、当館の活動が止まらないよう様々な工夫をした。

#### 令和3年度

○入場者数・参加者数について 目標: 36,848人 実績: 30,978人 達成率: 84%

○実施期間の変更: イベント制限は緩和されていき、秋には満席にできるようになるが、お客様の出控え買い控えが続いたこと、また、水際対策の緩和は年度最後からようやく少しずつ始まったという状況のため、海外オーケストラやTACTフェスティバルなど対象事業5事業61公演を中止または延期、1事業をオンラインプログラムに変更して実施。

#### 令和4年度

○入場者数・参加者数について 目標: 34,274人 実績: 31,525人 達成率: 92%

舞台技術セミナーはオンライン実施により再生回数937回を得て現地実施するより効率的に参加者を獲得できた。

○実施期間の変更: 水際対策が3月から緩和されたので対象事業のTACTフェスティバルでは外国人招聘2事業については内容(構成・演出等)が国内の感染ガイドラインに抵触するといった理由で中止。『気づかいルーシー』は新型コロナウイルス感染症陽性者が複数名出たため中止。「東京演劇道場」については、コロナ禍の影響により、想定していた回数のワークショップが行えなかった。コロナ前から活動を続ける2期生はワークショップの機会が非常に少なかった。しかし、1期と2期生からオーディションで選抜し、演劇道場公演『わが町』については実施することができた。

## 自己評価

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに実施できたか。

事業費においても、コロナ禍の影響は令和2年度が最も大きく、徐々に、ウィズ・コロナの事業運営が実現できはじめています。令和4年度は、コロナの影響は減少したものの、円安や物価高騰の影響を受けたため、経費削減努力を行い、当初の計画を当初の予算内で実施することができました。

### 平成30年度

○助成対象経費総額は、要望時 324,511,000 円、決算時 229,733,649 円。変更額は▲94,777,351 円で、当初の見込みより 29%減少した。大きく費用を削減した事業としては、オペラ『ソラリス』。芸術面では高く評価されたが、現代オペラの演奏会形式は集客に苦戦が予想され、チケット収入見込みを見直すと同時に制作費を削減した。一方、費用増となった事業としては、勅使川原三郎公演『月に憑かれたピエロ』『ロスト・イン・ダンス』。企画段階より演奏家の数を増やすなど、音楽制作料、舞台美術・衣裳等について費用増となった。

### 平成31年度

○助成対象経費の総額は、要望時 286,556,000 円、決算時 238,361,515 円。変更額は、▲48,194,485 円で、当初の見込みより 17%減少した。大きく費用を削減した事業は、公演中止となった『0才&4才春休みオーケストラコンサート』『音楽大学オーケストラ・フェスティバル』。年間通じてキャリアアップゼミや演奏指導は行ったが、年度末演奏会を中止した『芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミー』、直前まで稽古を実施したが本番を中止した『カノン』は経費が30%程度削減となった。

### 令和2年度

○助成対象経費の総額は、要望時 241,127,000 円、決算時 99,671,023 円。変更額は、▲141,455,977 円で、当初の見込みより 59%減少した。「TACT フェスティバル」は、事業中止、一部オンライン上で音楽を共に奏でる映像企画に転換した。ダンス公演『マキム』は11月にプレイハウスで上演したが、経費は約2,300万円の削減となった。『木ノ下歌舞伎』は、オンライン上で台本の読み合わせや稽古を進めていたが、感染症の収束が見られず公演中止。結果、約3,200万円の削減となった。『フィガロの結婚』は、全体的な収支状況悪化により新たな財源を確保するためにJ-LODliveへ申請。その結果、対象経費（約5,000万円）が大幅に圧縮された。

### 令和3年度

○助成対象経費の総額は、要望時 278,119,000 円、決算時 179,631,439 円。変更額は、▲98,587,561 円で、当初の見込みより 35%減少した。水際対策により、海外オーケストラシリーズ中止、TACT フェスティバルの海外招聘の中止により約1,600万円減。その他、収支改善のために、『冬のライオン』『もしもし、こちら弱い派』など、経費削減努力をした。また、『パンドラの鐘』は、全体的な収支状況悪化を受け、助成対象事業から取り下げてJ-LODliveへ申請。その結果、対象経費（約4,700万円）が大幅に圧縮された。

### 令和4年度

○助成対象経費の総額は、要望時 324,985,000 円、決算時 248,575,997 円。変更額は▲76,409,003 円で、コロナ禍の影響により、TACT フェスティバルの海外招聘2事業の中止により約255万円減。また国内公演でも新型コロナウイルス感染者が出たため、『気づかいルーシー』は、東京公演が中止となった。その他、収支改善のために、『守銭奴』や芸劇dance『外は、良寛』、東京演劇道場公演『わが町』など、経費削減努力をした。レクチャー形式を予定していたNEO-SYMPHONIC JAZZは、東京ジャズと共催することによりコンサートホールでの公演が可能となり、目標値と実績に大きな乖離が生じた。人材育成、レクチャー、セミナーはいずれも予算内で事業を遂行した。

## (4) 創造性 (平成30年～令和4年度 5か年分)

### 自己評価

事業計画の内容が、独創性、新規性、先導性に優れている(と認められる)か。

平成21(2009)年より芸術監督に就任した野田秀樹は、圧倒的な実力、時代の鋭い分析力と作品を通しての提言、リーダーシップをもって当館のラインナップを創造性豊かに編成し続けてきた。加えてコロナ禍の起こったR2年からはアーティストとスタッフが活動を継続する環境づくりのため「緊急事態舞台芸術ネットワーク」の創立に尽力し、日本の演劇業界全体を牽引する発言と行動を展開している。音楽分野については、H26年から事業企画課長、R3年から副館長に就任した鈴木順子が、サントリーホールやラ・フォル・ジュルネ音楽祭プロデュースの経験を活かし、質の高いクラシックコンサートの継続的提供と共に、世界の大都市のホールに並ぶ未来の音楽シーンを創り出す事業を定着させている。

この二人の創造的牽引力に加え、芸劇が持つ世界に二つとないパイプオルガンを活かすため、正オルガニストとして小林英之と副オルガニスト3名に委託、また、人的資源としては芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド、東京演劇道場といった若手アーティストを擁し、自主事業や外部公演での活躍の場を提供している。共催・提携の相手先として音楽においては読売日本交響楽団、演劇では、大手のカンパニーや実力のある若手劇団、兵庫・北九州・松本・新潟・水戸・宮崎などの地方公共劇場と協働している。国際的には、近年、台湾、韓国、シンガポールの名門劇場と共同制作に取り組むなどアジアとのネットワークに注力している。

各部門の実績詳細は以下に記すが、事業計画に沿った実績は、「独創性」「新規性」「先導性」に富み、当館の作品創造については、音楽、ダンス、演劇の全分野にわたり国内外での高い評価につながった。

#### 音楽部門

##### ●独創性

R2 秋のシアターオペラ「フィガロの結婚」の再演は、初演時を凌駕する内容となり、コロナ禍の中、共同開催で行ったミュージア川崎、北九州芸術劇場での公演を含めて完遂した。

R2「TACT フェスティバル」ではコロナ禍による中止公演を様々な工夫を凝らし新たな発信に繋げた。R4は、「朗読音楽劇：ヘンゼルとグレーテル」を開催。「ティーンズのための朗読音楽劇：夜と霧」は、上演後のアフタートークで観客と双方向で感想のやりとりを実施し、舞台を通じて若い層に新たな気づきの場を提供した。

##### ●新規性

H30年藤倉大の初のオペラ作品「ソラリス」日本初演は、世界的に活躍している歌手を招聘、日本の若手歌手陣も起用。企画段階から全ての制作業務を劇場のスタッフが担い、外国人招聘、演出、音響、舞台照明等現代オペラに挑戦したことは価値あるものであった。藤倉は、この1年間の活動が評価され、平成30年度 芸術選奨音楽部門文部科学大臣新人賞を受賞。日本国内での評価が高まった。

R3 コンサートオペラは、劇音楽として全曲版が日本初演となる「アルルの女」を、プーランクの「人間の声」とあわせて上演し高評価を獲得。その希少性も含め、公共劇場が制作する内容として相応しいものとなった。シンフォニック・ジャズ企画のプロデューサーに米ダウンビート誌の「未来を担う25人のジャズアーティスト」にアジア人で唯一選出された挟間美帆を起用。演奏は東京フィル。毎年題材を変え、挟間が新たな新曲や編曲作品を提供しゲストも迎えることで、ジャズ×オーケストラの魅力の普及につとめた。クラシックのみならず、ジャズファンなど幅広い層に向けた芸劇の夏の企画として定着。R4は、新たに東京JAZZと組み、東京JAZZ 2022 NEO-SYMPHONIC! CINEMA JAZZ」として、映画音楽とジャズをテーマに開催。ジャンルを超えて活躍する様々なアーティストたちとのコラボレーションを実現。公演後に国内外へのアーカイブ配信を実施し、

幅広い層に向けてシンフォニック・ジャズをアピールした。

#### ●先導性

H30年、エサ＝ペッカ・サロネンが首席指揮者として率いる最後の公演であるフィルハーモニア管弦楽団演奏会を実施。3日間に渡るコンサートは音楽の友による2020ベスト・コンサートの第1位に選ばれた。また、バーチャル・オーケストラ体験やグローバルリングでの映像コンサートを実施し、新たな聴衆の創出に貢献した。コンサートホールのシンボルでもある世界最大級のパイプオルガンを生かした「オルガン・ア・ラ・カルト」では、年間を通じて多彩なバリエーションのあるプログラムを毎月実施。H31年には合唱を伴う委嘱新作の初演や、オーストリアからオルガニストの招聘を行い、意欲的な活動を実施し、当日配布するプログラムには初心者でも馴染めるよう丁寧な解説を掲載。NHKの8K収録も実施。鑑賞機会及びファン層の拡大を図った。H26年からスタートした芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインドは、R3年からミュージック・アドバイザーにホルンの福川伸陽を迎え、日本国内外で活躍するオーケストラ奏者・ソリスト14名を講師として新体制で運営を開始。「キャリアアップゼミ」、「レッスン」、そして学びを実践する「コンサート」と、3本の柱から成り立つプログラムで国内でも稀有な育成プログラムである。卒団生の実績は、H30年～R4年迄で、東京シティ・フィル、ルセ歌劇場管弦楽団、関西フィル、札幌響、山響、神奈川フィル等プロのオーケストラに14名、ソリストとしてマネジメントに所属した者1名、管打楽器コンクール・サクソフォーン部門入選1名を輩出。

### ダンス部門

#### ●独創性

H30年度の勅使川原三郎『月に憑かれたピエロ』は、シェーンベルクの無調音楽をダンス化するという難易度の高い試みを、勅使川原が独自の舞踊メソッドを駆使して形にした。日本の実力派演奏家たちのアンサンブルとソプラノ歌手マリアヌ・プスールの独特な唱法とを調和させた舞踊作品は、現代舞踊上演史にも刻まれる完成度となった。H31年度の現代ダンスカンパニー「ローザス」招聘公演は、ジョン・コルトレーン『至上の愛』、J.S. バッハ『我ら人生のただ中であって／バッハ無伴奏チェロ組曲』の2作を上演。アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケルによりコンテンポラリーダンス最前線の表現を、現代の日本の観客に提供することができた功績は大きい。

R4の芸劇danceは、田中泯『外は、良寛』。松岡正剛の良寛を巡る独創的な論考に触発された田中泯が、「踊り部」として良寛の核心に迫った。現代美術家の杉本博司の代表作である写真シリーズ『海景』が投影された舞台上で田中泯が渾身の踊りを見せた。本條秀太郎の唄と三味線、山口源兵衛の衣裳、そして石原淋はじめ存在感ある助演者たちが見事に調和して究極の舞踊表現となった。杉本の繊細な写真を高い技術力で劇場空間に投影した技術チーム（フリーのテクニカルスタッフと東京芸術劇場舞台スタッフの連携）の功績も賞賛を集めた。

#### ●新規性・先導性

R2年度の芸劇danceワークショップ『東京ディグ/ライズ2』は、居住地に根差した意識を起点にするダンス表現を目指すというユニークなコンセプトを引き継ぎ、ワークショップの方法論を発展させた。コロナ禍中ではオンラインでのワークショップを行い、ステイホームという状況でもダンス表現を追究できる可能性を示した。発表公演の場では北尾亘の巧みな構成によって参加者から観客まで巻き込む「コロナ禍の夏」を描き出し、大きな喝采を浴びた。R3は芸劇danceワークショップ『東京ディグ/ライズ ワンダーゼミ』という映像での発表を目指すスタイルとして、舞台、映像、ホームを掛け合わせワークショップの新しい可能性を示した。R4『となり街の知らない踊り子』。劇団「範宙遊泳」を主宰し、2021年には岸田國士戯曲賞も受賞して益々注目度も高まる劇作家・演出家の山本卓卓。一方の北尾亘は、かねてからダンス界の盛り上げに心血を注ぎ、新しいダンス表現の実験を積み重ねてきた。当代きっての表現者二人のコラボレーションは、山本が現代社会に深

く切り込んだテキストをもとに北尾がたった一人で25役を演じ踊る。膨大な台詞を語り、また映像や衣裳と絡みながら全身全霊で踊る北尾は、まさに物語る身体として圧倒的な存在感を示した。国内や海外で上演を重ねてきたが、東京芸術劇場公演として大きくアップデートされ、他のジャンルの表現者や海外からも熱い視線が注がれた。

## 演劇部門

### ●独創性

野田芸術監督が見出した、既存の枠組みを越境する若手の逸材に、大空間での演出や海外公演など新たな挑戦となる文脈で飛躍的成長の場を与えているマームとジプシーの藤田貴大にH30には寺山修司作品「書を捨てよ、町へ出よう」演出で日本国内とパリでの公演、830席のプレイハウスでの新作「BOAT」公演という機会を与えた。また、H31に企画した「カノン」は、快快の野上絹代を起用、フィジカルシアター的演出により野田戯曲の新たな魅力を掘り起こした。野上が演劇5大学公演で本作を演出した成果に目をとめた野田芸術監督が、プロの俳優での上演に抜擢した渾身の一作。R2に企画した木ノ下歌舞伎とのジョイント企画「三人吉三」はプレイハウスの大空間で通し狂言を上演するという企画だった。(コロナにより中止)これらのアーティストが当館での活動を経てステップアップしていることからネクストジェネレーション増加のアウトカム達成を果たしている。

R4は、2015年に東京芸術劇場が子どものためのオリジナル作品として自主制作した『気づかいルーシー』を再演した。松尾スズキの絵本を原作にノゾエ征爾が演出、主演は今や人気俳優として活躍する岸井ゆきの。ユニークな座組でおくる歌あり踊りありの奇想天外な舞台は、子どもはもちろん、幅広い世代から好評を博した。多くの再演希望の声に応え、全国6都市のツアーが決まったが、東京公演のみ公演関係者に続けて陽性者が出たため全日程が中止となった。全国の他劇場では無事に上演され、東京地区ではパルテノン多摩で上演し、映像収録を行い配信した。一部で上演の機会を逸することになったが、東京芸術劇場の強力なレパートリーとして存在感を示すことができた。

### ●新規性

R2の「赤鬼」では、東京演劇道場生それぞれの個性を引き出す野田演出により、躍動する若い肉体が実演芸術の魅力アピールした。無名の役者たちによる公演を自主事業で行うのは初めてのことがあったが、追加公演をうつつ盛況ぶりを達成した。R3の「もしもし、こちら弱い派」は、13年継続している「芸劇eyes」シリーズの中で「番外編」にあたり、注目されているがまだ芸劇で単独公演を行う実績はない活動初期の複数の団体のオムニバス公演である。時間と手間がかかり、なかなか実施できない事業だが、この助成を受けて体制を整えたことにより7年ぶりに実現することができた。社会の中の弱い立場に自らの居場所を置く若いクリエイターたちのかそけき声を聞く、という新規なコンセプトを打ち出して注目を集めた。毎年ゴールデンウィークに実施しているTACTフェスティバルは、子供と大人が楽しめる演目をラインナップしているが、特に「ブランカ・リー」等海外から招聘した大人の鑑賞に十分堪える質の高いフィジカルシアターを紹介することで新規性を達成している。H31、R2は新たに実施したTACTこども落語は、家族で楽しむファミリー寄席という新たな切り口を開拓した。

R4年度の東京演劇道場は、コロナ禍のため海外からのワークショップ指導者を招聘できず、また演劇道場に集まる俳優はプロとして独立して活動しているため、多人数で集まることによって感染リスクが高まることは、極力避けなければならなかった。演劇道場公演もそうした状況のもとで何とか準備を進め、気鋭の劇作家・演出家の柴幸男を迎えて『わが町』を上演した。ソーントン・ワイルダーの傑作戯曲を、現代の東京に移してアレンジし、人形や映像を駆使した枠にとられない構成・演出で、現代の若者たちの群像劇を作り上げた。野

田秀樹自らが演出した『赤鬼』の成果に積み上げるかたちで、今後の演劇道場の新たな挑戦に繋がる指標となった。(2023年3月24日付中日新聞)

### ●先導性

現代性に富む質の高い作品を、実力のある演出家、スタッフ、キャストで上演することにより日本の芸術水準の向上に資することを目指した。H30の「父」は世界中で上演され、ハリウッドで映画化もされた最新ヒット作品だ。野田芸術監督の信頼の篤い名優 橋爪功を主演に、本作の世界初演をてがけた演出家をフランスから招聘。「老い」という社会問題を扱いながら、非常に高い演劇性をもつ上質な舞台で全国の観客を魅了した。R3の『冬のライオン』は英国王朝を描いたドラマを現代に通じる家族劇として大胆に読み直した。実力あるキャストが繰り広げる丁々発止のやりとりはコロナ禍の観客に観劇の醍醐味を提供した。また、世界の都市との文化交流による優れた公演活動については、継続的に協働している韓国ナショナル・シアターカンパニーが星新一のショートショートをオムニバスで構成して制作した「ボッコちゃん」を野田のアドバイスで作品を練り直して日本に招聘した。

東京芸術祭 2022 のメイン演目の一つとして上演した芸劇オータムセレクション「守銭奴 ザ・マネー・クレイジー」。ルーマニアの演出家プルカレーテとそのクリエイティブスタッフを招聘、出演は佐々木蔵之介はじめ実力派が揃い、モリエール生誕 400 年を期しての上演となった。プルカレーテ演出は、コロナ禍、ウクライナでの戦争など、現代社会が直面する不安感に深く刺さる切れ味で、人間の執着の滑稽さや絶対強者の転落の図式を描き出した。フランス古典劇の代表作を東京で現代劇として上演するという演劇創作上の意義とともに、コロナ禍の中でも海外の劇場やフェスティバルとの間で相互に培った信頼の上でスケールの大きな国際共同制作を行った点が高く評価された。

### 人材育成・教育普及部門

人材育成については、セミナー、ワークショップ等が平成 30 年、31 年は演劇や音楽事業にひもづく形のものが混在していたが、令和 2 年以降はファシリテーター養成、社会共生、多文化共生といったテーマにシフトした点で独創的、新規的である。また、プロフェッショナル人材養成研修はキャリアチェンジを目指す方向性を打ち出した点で、他劇場の取り組みとは異なる先導性があり、実績をあげている。

## 自己評価

事業の実施によって、当該劇場・音楽堂等の国内外での評価の向上につながった（と認められる）か。

以下、公演評やアンケートなどにより、当館の評価向上につながったと認められる主だったものを記載する。

### 音楽部門

●R2 シアターオペラ：「フィガロの結婚」～庭師は見た～は、「出演者は一様に皆芸達者で音楽面も整い、コロナ下とは思えないほどにぎやかで、型破りの面白さがある。」（2020年11月20日 モーストリー・クラシック 公演レビューより） 公演アンケートによる満足度：100%

●TACT フェスティバルは、緊急事態宣言による公演中止にも屈せず、代替企画を提供。オンラインでの鑑賞機会を提供出来たことは、コロナ禍での新たな鑑賞スタイルの提供に繋がられた。

R2年（2020年）公演中止に伴うオンライン共演映像配信：11,354回再生

R3年（2021年）無観客開催となったことでの映像配信：2946回再生（期間限定1ヶ月）

R4年（2022年）3年ぶりのリアル開催。内容の満足度80%

●H30 コンサート・オペラシリーズ 藤倉大：オペラ「ソラリス」 公演アンケートによる満足度：90.1%  
藤倉大が、平成30年度芸術選奨音楽部門 文部科学大臣新人賞受賞。R3同シリーズでは、プーランク：オペラ「人間の声」、ビゼー：劇音楽「アルルの女」を取り上げ、「(省略) 松重豊と東京演劇道場のメンバー3人が朗読を好演。オーケストラは、俊敏な反応で人間心理を活写し、合唱団は力強く劇的に、悲恋の物語を盛り上げた。」（2022年1月26日付日本経済新聞公演評より） 公演アンケートによる満足度：96.2%

●NEO-SYMPHONIC JAZZ at 芸劇は、公演アンケートによる満足度：(H31) 95% (R2) 100% (R3) 93% (R4) 94%。  
R4には、「進化みせたカラフルな祭り。4年間の着実な蓄積が鳴っている」（2022年8月25日付朝日新聞）

●R4 サイモン・ラトル指揮ロンドン交響楽団（2022年11月30日付公明新聞）

●芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド（GOA）は、アウトリーチ活動が評価されている。（2022年11月24日付みのわ新聞）

●ジュニア・アンサンブル・アカデミーは、参加者アンケート 満足度 100% 指導者へのインタビューを通じて活動を高く評価された。「こどもでなく音楽家として指導する」（2022年6月18日付掲載「音楽の友」より）

### ダンス部門

●H30、勅使川原三郎『月に憑かれたピエロ』（ダンスマガジン2019年3月号 舞踊評論家・石井達朗氏より）

●H31、ローザス公演「ケースマイケルのダンスは、崇高の境地を追い求めてやまない人間精神の旅を喚起する」（舞踊評論家・岡見さえ氏 タワーレコードintoxicate 2019 spring/summer）

●R2の芸劇dance 田中泯『村のドン・キホーテ』は、第15回日本ダンスフォーラム賞（JaDaFo賞）大賞を受賞。「田中は「場踊り」とは反対のやり方で、しかも演劇とは別のやり方で、何かを切り開いたのである」（舞踊評論家・尼ヶ崎彬氏 日本ダンスフォーラム大賞選評より）

●R4、TACTのプログラムのひとつとして上演された『もつれる水滴』は、現代美術家の東芋とフランスの現代サーカス・パフォーマーのヨルグ・ミュラーとの協働作品である。東京芸術劇場としても新型コロナウイルス感染防止水際対策が緩和されて初めての海外アーティスト招聘が叶ったものであり、また当館の招聘のノウハウをベースに富山オーバードホール、山口のYGAM、沖縄のナハート各館との国際共同企画として実現したことで意義ある試みであった。「この二人にしかできない挑戦、進化が期待できる作品」（ダンスマガジン2022年7月号 舞踊評論家・乗越たかお氏）はじめ、身体パフォーマンス表現の新たな地平を開くものとして高い評価を得た。

●続く東京芸術祭2022において東京芸術劇場からの参加作品『となり街の知らない踊り子』は、ダンスと演劇がハイブリッドした作品。岸田戯曲賞受賞作家の山本卓卓が盟友のダンサー・振付家の北尾亘と時間をかけて練

り上げた作品である。「傑作である。」(ダンスマガジン 2024 年 3 月号 舞踊評論家・尼ヶ崎彬氏)

●芸劇 dance 田中泯『外は、良寛。』は、至高の舞台が誕生した。「田中の飽くなき探究心と開かれた姿勢が感動を呼んだ」(読売新聞(夕刊) 2023 年 1 月 10 日 編集委員・祐成秀樹氏)

## 演劇部門

●TACT FESTIVAL(平成 30 年度～)

毎年アンケート集計で 95%を超える満足度を獲得し、平成 31 年にイギリスより招聘した 1927[獣よ子供よ街へ出よ]では、「今回の 1927 のように意欲的な新しい表現を持ってきてくれるとても面白い企画」と大人も満足する評価を獲得し、一線を画す評価を得ている。

●平成 30 年度 「書を捨てよ、町へ出よう」はアンケートで「寺山さんが生きていたら喜んでいると思います」という評価を得、舞台美術、ミナペルホネンの衣裳も好評を得た。同じく藤田作品「BOAT」は満足度 86.1%、初めての来館者 38.3%を獲得、「悲劇喜劇」など劇評 2 本を獲得した。アンケートでは、新境地に挑む藤田の心意気、ハイセンスなビジュアル表現が評価を集め、芸劇との継続的な協働が支持された

●「父」は第 27 回読売演劇大賞において、橋爪功が大賞・最優秀男優賞、作品が最優秀作品賞、若村麻由美が優秀女優賞を受賞、橋爪は同年の菊田一夫演劇賞も受賞。

●平成 31 年度 韓国ナショナル・シアターカンパニーを招聘した星新一原作「ボッコちゃん」公演では満足度 87.8%、初めての来館者 28.6%を得た。星新一の作品ファンという新しいマーケットが劇場に初めて足を運び、韓国の俳優の身体表現力に感嘆した。当館の国際的取り組みへの評価が高まった。

●令和 2 年度 コロナによる劇場閉鎖が解け、公演再開第一弾事業となった「赤鬼」は、野田芸術監督が東京演劇道場所属の若手俳優たち 4 チームによる長期公演に取り組むことで、注目を集めた。

●令和 3 年度 「芸劇 eyes 番外編 弱い派」は、初めての来館者を 21.1%獲得するなど、新たな観客層の掘り起こしに貢献。「カノン」は平成 31 年の公演中止からの持ち越し企画だが、今回もコロナにより四度の初日延期を経ての執念の開幕に、アンケートにも熱い応援の言葉がつつられ、満足度は 92%、アイディア豊かな野上演出、小劇場の実力派中心のキャスティングの層の厚さが評価された。「弱い派」と並び、舞台芸術のネクストジェネレーションの増加に寄与した。

●R4 ルーマニアから『スカーレット・プリンセス』という大型招聘公演を実現させてその先鞭をつけ、同作品の演出家シルヴィウ・プルカレーテと音楽と美術のスタッフがそのまま日本滞在をして『守銭奴 ザ・マネー・クレイジー』を完成させた。本作のレビューは「異様な狂宴で劇を突き放すブレヒト劇風の演出は、喜劇のエスプリや予定調和を許さない。(中略)独特の演劇は社会主義時代の抑圧状況が生んだ面があるだろう」(日本経済新聞夕刊 2022 年 12 月 2 日 編集委員・内田洋一氏)をはじめとして、現代の社会状況に照らし合わせてマクロ的な上演意義を評価する声が目立った。コロナ禍がいまだに猖獗を極める状況で公演中止も相次いだが、単に娯楽として消費されるだけに終わらない、現代演劇の存在意義を示す上演が実現できた。演劇を通して多くの観客に思考を深めるきっかけを提供できたことも評価として受けとめたい。

## 人材育成・教育普及部門

●プロフェッショナル人材養成研修は、卒業生が全国の様々な公共劇場や芸術団体に活躍し、国内での評価を得ている。舞台技術セミナーや社会共生セミナーを配信することにより、劇場に来られない人へのアプローチが広がり、評価の向上につながっている。日本語ワークショップの実施により、多文化コミュニティにアクセスした。

## (5) 持続性（平成30年～令和4年度 5か年分）

### 自己評価

事業計画を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

当館の運営は、設置者の文化政策推進のコアとなる事業であり、持続的に都の方向性に連動した事業展開が求められているため、令和3年度から6年間の指定管理を特命により選定された。令和2年度までの4年間と合わせ10年となったため、事業計画の持続的な推進がしやすくなった。以下、助成期間中に変化した組織活動について述べる。

○経営基盤の強化…設置者の負担金に加えて、施設利用料収入の安定化と外部資金導入に注力している。

・施設貸出収入（当館及び水天宮ピット）の安定的確保

H30：556,577,299円/H31：544,366,761円/R2：316,766,088円/R3：498,364,246円/R4：554,696,480円

・公的資金の獲得実績

H30：383,029,162円/H31：155,793,184円/R2：225,049,487円/R3：204,067,152円/R4：410,521,765円

・民間助成金の獲得実績

H30：53,274,244円/H31：20,536,328円/R2：5,386,612円/R3：13,841,366円/R4：29,598,000円

・企業等からの協賛金・寄付金の獲得実績

H30：20,874,000円/H31：22,240,000円/R2：24,882,500円/R3：16,972,502円/R4：31,074,248円

※R2は開館30周年に対する企業協賛金が増額。

※R4は芸術監督野田秀樹氏のNODA・MAP「Q」海外公演に対する協賛金があったため、大幅に増加。

○職員の人材育成…職員が能力を発揮できる環境を整えるため、以下の取組を行った。

・常勤契約職員の固有職員化（雇用転換数）を活性化させている。その実績は以下のとおりである。

H30：1名/H31：1名/R2：2名/R3：2名/R4：2名

・他団体研修・所属財団研修参加実績（延べ人数）

H30：81名/H31：66名/R2：43名/R3：29名/R4：41名

・研修の充実：財団の研修制度、海外派遣研修などを活用している。

・情報セキュリティ研修、文書研修、契約事務研修、コンプライアンス研修、実践力向上（論文など）研修を毎年実施、汚職等非行防止研修（H30）、テロ対策研修（H31、R3）、ハラスメント防止研修（H31、R4）、クリエイティブ・ウェルビーイング研修（R2）など、状況に応じて特別な研修を実施している。

・国内外の文化施設等への派遣研修制度を活用し、当館の舞台技術（音響）職員が、H31年度に2か月間フランスのシルクパフォーマーの創作現場で2か月間研修を行った。

・外部講師の引き受け件数…管理職、係長級に限らず、主任級、主事級職員も外部講師を務めている。

H30：17件（大学院2件、大学11件、その他4件）

H31：20件（大学院2件、大学9件、高校1件、その他8件）

R2：7件（大学院1件、大学2件、高校1件、その他3件）

R3：32件（大学5件、高校22件、その他5件）

R4：37件（大学院1件、大学7件、高校23件、その他6件）→「高校」では特に若手職員が講師となっている。

○各ジャンルの専門人材育成

・音楽

## 芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド

- ・プロフェッショナル演奏者の輩出数（期間中合計）

プロの楽団・グループ入団：13名、ソリストとしてマネジメント所属：1名 合計14名

- ・ダンス

ダンス分野の専門人材育成は、R2から当館のダンス専門人材育成を助成対象事業に位置付けた。H30からダンスワークショップのモデルづくりをはじめ、H31にはそれをさらに進化させた新しいダンスワークショップ「東京ディグノライズ」を開催。R3では北尾亘がファシリテーター的役回りとなって、発表は映像発表というスタイルを取った。夏期にレクチャー中心のワークショップを行い、冬期に映像制作を实践した。16名が発表した映像作品は、個々の瑞々しい感性を反映したダンス作品映像となった。芸劇YouTube上での配信を準備している。

- ・演劇

東京演劇道場

- ・道場から大中劇場クラスへの出演者輩出数(期間中合計)

当館での公演出演：19名、他館公演出演：5名 合計24名

- ・制作人材の育成

東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修

- ・公共劇場や芸術団体への就職者数

H30：1名/H31：3名/R2：3名/R3：1名/R4：4名

- ・主な就職先

H30：公益財団法人練馬区文化振興協会（練馬文化センター）

H31：岡山芸術創造劇場、豊岡演劇祭実行委員会事務局、国際交流基金

R2：東京芸術劇場、東京文化会館、一般社団法人ショー&パフォーマンス協会

R3：公益財団法人静岡県舞台芸術センターSPAC

R4：アーツカウンシル東京、座高円寺、クリエイティブ・リンク・ナゴヤ、東京芸術劇場

## ○広報の充実

- ・多様な媒体を利用した発信を行うことで、当館の注目度をあげ、様々な取組の好循環を促す。

TV・ラジオ放送件数：H30/26件、H31/17件、R2/16件、R3/25件、R4/22件

新聞掲出件数：H30/294件、H31/203件、R2/100件、R3/187件、R4/159件

雑誌掲出件数：H30/682件、H31/955件、R2/224件、R3/350件、R4/327件

ホームページアクセス件数(PV)：H30/6,459,392、H31/6,457,658、R2/3,860,872、R3/5,976,468、R4/6,344,622

ツイッターフォロワー数：H30/87,304、H31/89,241、R2/92,253、R3/95,455、R4/97,609、R5/100,315

## ○主なネットワークの構築

コロナ禍において業界の危機的状況に対応するために結成されたネットワーク、緊急事態舞台芸術ネットワーク、クラシック音楽公演運営推進協議会に参画し、業界のガイドライン策定に協力、現在も活動を続けている。また、全国公立文化施設協会に加盟し、東京都公立文化施設協議会の会長館として、東京都内の加盟施設約60館との情報交換、連携に取り組んでいる。R3には、全公文の経営環境部会の活動にも参画し、県域施設と市町村施設との連携活性化に取り組んでいる。また、音楽系大学、演劇系大学と連携した事業の実施も引き続き行っている。国際的には、世界約60か国500を超える組織が加盟する国際ホール組織ISPAに加盟。また、前述のアジアの若手プロデューサー育成のためのACPC（アジア・コネクション・プロデューサーズ・クリエイション）を組織、参加し、韓国、台湾、シンガポールの劇場とのネットワークを構築している。また、ロンドン、パリ（R4に提携協定締結）、ベルリンなど、東京都の姉妹提携都市の劇場・音楽堂とのネットワークの構築に着手している。

## 自己評価

持続的なアウトカムの発現・定着が期待できるか。

アウトカムを持続的に発現させるために、上述のとおり、安定的指定管理期間を確保した。当館は都の指定管理者であると共に、政策連携団体として、R3 年度末に策定された「東京文化戦略 2030」の中で、当館が芸術文化のハブ機能を発揮し、国内外の施設とネットワークを形成し、共同制作・人材交流・情報の中心的な役割を担えるようにするという記述があり、助成事業における6つのアウトカムを実現することを後押しする位置づけが明文化された。（「東京文化戦略 2030 デジタルブック」より）

「有効性」で述べたように、パンデミックの中、事業を継続できたのは、特に財政面において、当財団あげでの対応や設置者からの支援に加え、文化庁や経済産業省による助成金を積極的に活用したことによる。また人材面でも、この5年間で職員が8人増員となり、特に、人材育成や社会共生の担当や事業を支える管理のスタッフが強化された。それらの資源を投入して実施された事業は、コロナ禍により R2、R3 は進捗に遅れが出たものの、また、R4 には、コロナの影響、円安や電気代高騰の影響など厳しい状況が続いたが、大きな変更のない事業推進を行い、目標・指標の達成状況もほぼ計画どおりとなり、5年間の事業を通じて、アウトカムの発現が達成できたと評価している。

設置者による「指定管理者管理運営状況評価」においても、総合評価が、H30 は A+、H31 は S、R2 は A、R3 は B と継続して良好な管理運営状況と評価されている。R3 の個別評価では、事業実施状況について「水準を上回る」と評価された。評価内容は、「様々な演劇賞を受賞するなど、質、話題性ともにトップレベルの公演を多くラインナップするなど、経営面でも努力が見える、また、社会包摂プログラムについても着実に実施した」という内容であった。また、指定管理期間の長期化や、外部資金の獲得、職員の増員、固有職員化推進、多様な研修機会の充実など経営基盤の強化に取り組んでおり、「組織活動が持続的に発展していく」と評価された。

この5年間では、以下の PDCA サイクルの基、事業の継続実施において発現したアウトカム「舞台芸術の国際文化交流の拠点、全国の劇場・音楽堂との交流活性化、地域コミュニティの創造と再生、来館者数及びファン層の拡大、舞台芸術のネクストジェネレーションの増加、創造活動の体制確保」を定着させ、さらに「芸術文化活動を次世代に繋いでいく」ステージに、東京芸術劇場は到達したと評価している。

